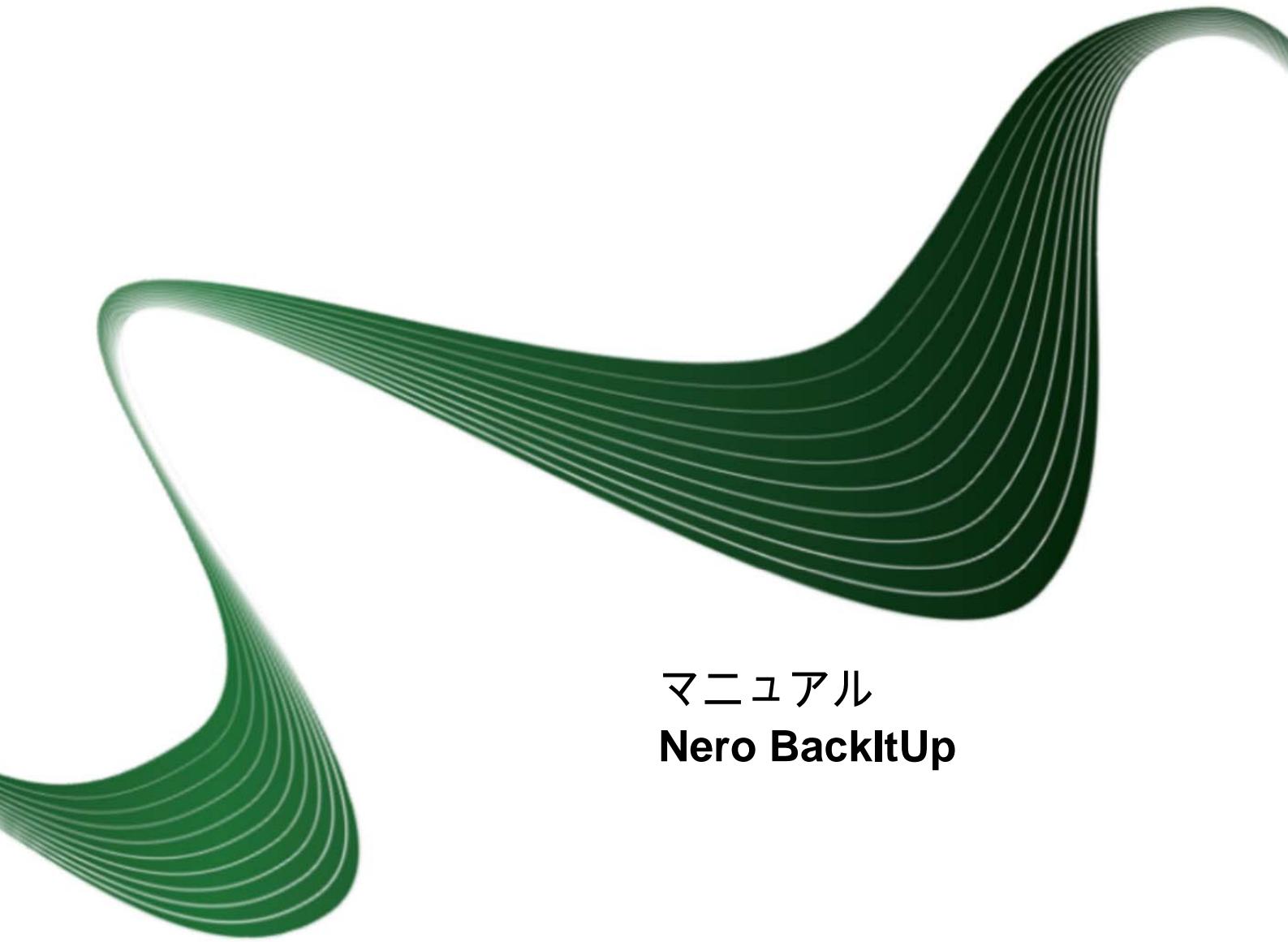


**nero**

# BackItUp & Burn



マニュアル  
**Nero BackItUp**

## 著作権および商標情報

ここに記載されるソフトウェアと同様に、本マニュアルはライセンスの一部として提供され、使用許諾書に従ってのみ使用または複製することが許されます。同梱のソフトウェアおよび本マニュアルの内容は、事前の通知なしに変更される場合があります。Nero AG 社は、本マニュアルの正確さに関する責務を負わないものとし、保証の範囲を超える一切の請求を拒否します。

本マニュアルとその内容のすべては、著作権によって保護されており、著作権は Nero AG

社に著作権に帰属します。無断転載を禁止します。また、このマニュアルの内容は、国際著作権条約により保護されています。Nero AG 社の書面による明確な許可なしに、本マニュアルの一部または全部の複製、配布、複写を禁止します。

プロジェクトに挿入または複写しようとしている既存のグラフィックス、画像、ビデオ、音楽タイトルやその他の素材は、著作権によって保護されている場合があります。これらの素材を許可なく使用することは、その素材について著作権が帰属する所有者の権限を侵害する可能性があります。著作権の所有者から必要なすべてについて使用許諾を取得する必要があります。

自分が著作権を所有している場合や、著作権の所有者から使用許諾されている場合、あるいは行為が著作権法の「公正使用」の条項に従うものである場合以外の使用については、著作権法または国際著作権条約に違反している可能性があります。著作権によって保護されている素材の転写、複製、改良、出版は損害に対する賠償請求、またはその他の法的措置が適用される場合があります。自分の権限が明確でない場合、法律の専門家にご相談ください。

Nero BackItUp

に同梱されているアプリケーションには、サードパーティによって開発されたテクノロジが必要なものがあり、またの中にはデモ版として使用するものがあります。

これらのアプリケーションの当該バージョンを制限なしで使用できるようにするには、オンラインで無料でアクティベートするか、アクティベーションアクセスを送信してください。送信されるデータは、サードパーティから使用許諾されているテクノロジをアクティベートするために必要なデータだけです。Nero BackItUp

を制限なく使用するには、インターネット接続が可能な環境、またはファックス機が必要です。

Copyright 2006 - 2009 Nero AG and its licensors. All rights reserved.

Nero、Nero Digital、Nero BackItUp、Nero Essentials、Nero Express、Nero ImageDrive、Nero LiquidTV、Nero Media-Home、Nero Recode、Nero RescueAgent、Nero ShowTime、Nero Simply Enjoy、Nero StartSmart、Nero Vision、InCD、Move it、PhotoSnap、SecurDisc ロゴ、Burn-At-Once、DNC Dynamic Noise Control、LayerMagic、Nero DMA Manager、SmartDetect、SmoothPlay、Superresolution、Nero Surround、Nero LiquidMedia、Nero MediaStreaming および UltraBuffer は、Nero AG 社の商標または登録商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、および Premiere は、Adobe Systems 社の商標または登録商標です。AMD Athlon、AMD Opteron、AMD Sempron、AMD Turion、ATI Catalyst、および ATI Radeon は、Advanced Micro Devices

社の商標または登録商標です。ATSC は、Advanced Television Committee の商標です。ICQ は、AOL

社の登録商標です。Apple、iPhoto、iPod、iTunes、iPhone、FireWire、および Mac は、Apple

社の商標または登録商標です。ARM は、ARM, Ltd 社の登録商標です。AudibleReady は、Audible, Inc 社の登録商標です。BenQ は、BenQ 社の商標です。Blu-ray Disc は、Blu-ray Disc Association の商標です。CyberLink は CyberLink

社の登録商標です。DLNA は、Digital Living Network Alliance の登録商標です。DivX および DivX Certified は、DivX

社の登録商標です。Dolby、Pro Logic、および 2 つの D をあしらったロゴは、Dolby Laboratories

社の商標または登録商標です。DTS および DTS Digital Surround は、DTS 社の登録商標です。DVB は、DVB Project

の登録商標です。Freescale は、Freescale Semiconductor 社の商標です。Google および YouTube は、Google

社の商標です。WinTV は、Hauppauge Computer Works, Inc 社の登録商標です。Intel、Intel XScale、Pentium、および Core

は、Intel 社の商標または登録商標です。Linux は、Linus Torvalds の登録商標です。Memorex は、Memorex Products, Inc

社の登録商標です。ActiveX、ActiveSync、DirectX、DirectShow、Internet Explorer、Microsoft、HDI、MSN、Outlook、Windows、Windows Mobile、Windows NT、Windows Server、Windows Vista、Windows

Media、Xbox、Xbox 360、Windows Vista のスタートボタン、および Windows のロゴは、Microsoft

社の商標または登録商標です。My Space は MySpace 社の商標です。NVIDIA、GeForce、および ForceWare は、NVIDIA

社の商標または登録商標です。Nokia は Nokia 社の登録商標です。CompactFlash は、SanDisk

社の登録商標です。Sony、メモリースティック、PlayStation、PLAYSTATION および PSP は So-

ny社の商標または登録商標です。HDV は、Sony 社および JVC ( Victor Company of Japan ) 社の商標です。UPnP は、UPnP Implementers 社の登録商標です。Labelflash は、ヤマハ社の登録商標です。  
ここに記載されている商標は情報提供のみを目的としています。すべての商標名、商標はそれぞれの所有者に帰属します。  
Nero AG Im Stoeckmaedle 13-15,D-76307 Karlsbad, Germany

# 目次

<b>1</b>	<b>はじめに</b>	<b>7</b>
1.1	このマニュアルについて	7
1.2	Nero BackItUp について	7
1.3	Nero BackItUp の各バージョン	8
1.4	Nero BackItUp を使用する	9
<b>2</b>	<b>Nero BackItUp を開始する</b>	<b>10</b>
<b>3</b>	<b>ユーザーインターフェース</b>	<b>11</b>
3.1	ジョブ画面	13
<b>4</b>	<b>Nero BackItUp でバックアップを実行する</b>	<b>15</b>
<b>5</b>	<b>自動バックアップ</b>	<b>17</b>
5.1	自動バックアップを使用してハードディスクに保存する	18
5.2	自動バックアップを使用してオンラインで保存する	23
<b>6</b>	<b>ファイルバックアップを実行する</b>	<b>27</b>
<b>7</b>	<b>ドライブバックアップを実行する</b>	<b>31</b>
<b>8</b>	<b>[ バックアップ設定 ] 画面</b>	<b>33</b>
8.1	バックアップタイプについて	35
8.2	タイムスケジュールについて	39
<b>9</b>	<b>バックアップをペリファイする</b>	<b>41</b>
<b>10</b>	<b>Nero BackItUp でリストアする</b>	<b>43</b>
10.1	ファイルバックアップをリストアする	43
10.2	ドライブバックアップをリストアする	47
<b>11</b>	<b>バックアップとリストアの上級オプションの概要</b>	<b>49</b>
11.1	メール通知	51
11.2	その他	52
<b>12</b>	<b>Nero BackItUp で同期を実行する</b>	<b>55</b>

12.1	フォルダを同期する	55
12.2	同期タイプについて	57
<b>13</b>	<b>ツール</b>	<b>58</b>
13.1	ブータブル Nero BackItUp ImageTool を作成する	58
13.2	スタンドアローン Nero BackItUp SyncTool を作成する	59
13.3	[ 書き換え可能なディスクの消去 ] ウィンドウ	60
<b>14</b>	<b>Nero BackItUp オプションの概要</b>	<b>63</b>
14.1	FTP サーバー接続を設定する	64
14.2	リモートプロキシ	66
14.3	メールアカウントを設定する	66
14.4	フィルタを作成する	68
<b>15</b>	<b>Nero BackItUp ImageTool</b>	<b>72</b>
15.1	Nero BackItUp ImageTool を起動する	72
15.2	ユーザーインターフェース	74
15.2.1	拡張エリア	75
15.3	ドライブバックアップ	76
15.3.1	ディスクにバックアップを書き込む	76
15.3.2	ハードディスクや FTP サーバーにバックアップを保存する	78
15.4	リストア	79
15.4.1	ドライブバックアップをリストアする	79
15.4.2	バックアップからファイルを展開する	81
15.5	オプションウィンドウ	82
15.6	Nero BackItUp ImageTool を終了する	83
<b>16</b>	<b>Nero BackItUp SyncTool</b>	<b>84</b>
<b>17</b>	<b>技術的な情報</b>	<b>85</b>
17.1	システム要件	85
17.2	対応形式	85
17.2.1	ディスク種別	85
17.2.2	対応ファイルフォーマット	85
17.2.3	対応ソースメディア	87

目次

18	用語集	88
19	お問い合わせ	90

# 1 はじめに

## 1.1 このマニュアルについて

このマニュアルは、Nero BackItUp での作業方法を知りたいと思う、すべてのユーザーに向けた構成になっています。内容はプロセスベースになっており、特定の目的を達成する方法を、手順ごとに説明してあります。

このマニュアルを効果的に活用するために、以下の表記ルールに注意してください。

	必ず守っていただきたい、警告、前提条件、または指示を示します。
	補足的な情報や、注意メッセージを示します。
1. 最初に、...	行頭の番号は、必要な操作を示します。番号順に、操作を実行してください。
→	途中結果を示します。
→	結果を示します。
OK	プログラムインターフェースに表示される、テキストの一部またはボタンを示します。これらは、太字で表記されます。
「」を参照してください。	他章への参照を示します。リンクと同様に動作し、下線付きの赤色文字で表記されます。
[...]	コマンドを入力するための、キーボードショートカットを表します。

## 1.2 Nero BackItUp について

Nero BackItUp はデータのバックアップとリストアを実行するプログラムです。 Nero BackItUp ではファイル ( ファイルバックアップ ) とプログラムとオペレーティングシステム ( ドライブバックアップ ) の保存を行います。

シャドウコピー機能を利用して、作業中で開いているファイルを保存できます。バックアップをディスクに書き込んだり、ハードディスクやリムーバブルメディアに保存したり、オンライン

ライнстレージを使用したりできます。Nero BackItUp を使用して、バックアップデータが完全で正しいことをいつでも確認できます。

Nero BackItUp を利用して、自動実行する定期的なデータバックアップなどのスケジュールバックアップを実行できます。また、Nero BackItUp を使用して、監視対象フォルダを自動的にバックアップする自動バックアップ機能を設定することもできます。

Nero BackItUp ImageTool は、ファイルおよびドライブをバックアップするもう 1 つのツールです。Nero BackItUp ImageTool は、Nero BackItUp で作成可能なブータブルディスクに含まれています。Nero BackItUp ImageTool を利用して、ドライブのバックアップやリストアができます。Nero BackItUp ImageTool の起動時にドライブはアクティブではないので、別のアクティブなドライブへのバックアップに適しています。

Ne-

ro BackItUp SyncTool は、フォルダを同期するツールです。このツールは Nero BackItUp で作成し、ハードディスク、リムーバブルメディア、またはオプティカルディスクのどれかに保存します。Nero BackItUp SyncTool は任意のコンピュータ上のメディアから起動できるため、Nero BackItUp SyncTool を起動するのに Nero BackItUp をインストールしておく必要はありません。

## 1.3 Nero BackItUp の各バージョン

Nero BackItUp には、Nero BackItUp、Nero BackItUp Essentials、および Nero BackItUp Autobackup Essentials の 3 つのバージョンがあります。Nero BackItUp では、すべての機能が使用できます。

Nero BackItUp Essential については、次の機能が使用できません。

- バックアップリストアの上級オプション
- 複数ターゲットのバックアップ
- 高度な暗号化
- アーカイブ分割
- ドライブバックアップからのファイルの展開
- ファイルフィルタの作成
- Nero BackItUp ImageTool を使ったバックアップ

Nero BackItUp Autobackup Essentials では、自動バックアップ機能だけを使用できます。

## 1.4 Nero BackItUp を使用する

Nero BackItUp を使用して、バックアップ、リストア、および同期を実行できます。タスクは、目的のメニューをクリックして選択するだけで開始されます。次に、各種手順を移動することでタスクを完了します（手順ごとに別々の画面が表示されます）。

## 2 Nero BackItUp を開始する

Nero BackItUp & Burn をインストールすると、Nero BackItUp のアイコンがコンピュータのデスクトップに表示されます。Nero BackItUp のアイコンをダブルクリックすると、Nero BackItUp のウィンドウが開きます。

Nero BackItUp のタスクは、Nero BackItUp Agent のコンテキストメニューからでも開始できます。このエージェントはコンピュータのシステムトレイから利用できます。

Nero BackItUp から、Nero Express と Nero RescueAgent に簡単にアクセスできます。

## 3 ユーザーインターフェース

バックアップ、リストア、同期、および Nero BackItUp で実行できるその他のタスクは、

Nero BackItUp ユーザーインターフェースから開始します。

ウィンドウの上部にあるドロップダウンメニューからタスクを開始できます。また、オプションとヘルプを開くこともできます。左側のウィンドウ枠にあるエリアには、実行中の手順とタスクに関する情報が常に表示されます。



開始画面

ウィンドウの上部では、次のメニューが使用できます。

バックアップ	ファイルのバックアップ、ドライブのバックアップ、自動バックアップの設定、バックアップのベリファイなどのバックアップ機能があります。ここでは、バックアップジョブのため [ ジョブリスト ] 画面を開くこともできます。
元に戻す	ファイルのリストア、ドライブのバックアップなどのリストア機能があります。

同期	新規同期ジョブの作成などの同期機能があります。ここでは、同期ジョブのため [ ジョブリスト ] 画面を開くこともできます。
ツール	Nero BackItUp ImageTool を含むブータブルディスクを作成したり、スタンドアローンツールの Nero BackItUp SyncTool を作成したりするオプションがあります。また、書き換え可能なディスクを消去したり、ディスク情報を表示したりすることもできます。

ウィンドウの上部では、次のアイコンが使用できます。

	開始画面を表示します。
	[ オプション ] ウィンドウを開きます。
	ヘルプオプションを表示します。新しいシリアルナンバーを必要があればここから入力できます。

ウィンドウの左側では、次のエリアが使用できます。

ジョブ概要	最近実行されたジョブ、最後に実行されたジョブ、計画されている次のジョブを表示します。ジョブをクリックして [ ジョブリスト ] 画面を開けます。  開始画面と [ ジョブリスト ] 画面でのみ使用できます。
概要	現在のタスクを完了するのに必要な手順の概要が表示されます。  開始画面と [ ジョブリスト ] 画面では使用できません。
情報	現在のタスクに関するこれまでの情報が表示されます。  開始画面と [ ジョブリスト ] 画面では使用できません。
書き込みと復旧	 - Nero Express を開始します。   - Nero RescueAgent を開始します。
カレンダー	カレンダー表示では、計画しているバックアップジョブと終了したバックアップジョブが表示されます。日付をクリックして、カレンダーとジョブリストを開くことができます。

### 3.1 ジョブ画面

[ジョブリスト] 画面には計画されているジョブと実行されたジョブが表示されます。[同期] > [ジョブ表示] を選択すると、同期ジョブのみが表示されます。[バックアップ] > [ジョブ表示] を選択すると、バックアップジョブのみが表示されます。ジョブの前にある + アイコンをクリックすると、それぞれのバックアップを表示します。



ジョブリスト

マウスの右ボタンで適切な項目を選択することで、コンテキストメニューを開いてジョブを変更できます。次の項目が使用できます。

- 今すぐ実行
- コピー
- 変更
- 無効にする
- エクスポート
- 再スケジュール
- 削除

## ユーザーインターフェース

コンテキストメニューを開いて適切な項目を選択し、表示されたバックアップから復元プロセスを開始できます。

バックアップを選択してマウスの右ボタンでコンテキストメニューを表示した場合、[リストア]、[検索とリストア]または[削除]を使用できます。

## 4 Nero BackItUp でバックアップを実行する

Nero BackItUp を利用して、データをバックアップできます。目的のバックアップタスクを開始するには、[ バックアップ ] メニューをクリックします。  
次のバックアップタスクが使用できます。

### 自動バックアップ

Nero BackItUp を使用して、バックアップ機能を自動で実行できる自動バックアップを設定および構成できます。自動バックアップを設定すると、コンピュータのシステムトレイに表示され、指定したフォルダがバックグラウンドでバックアップされます。

同じファイルに定期的にバックアップを実行するときは、自動バックアップを設定することを強くお勧めします。バックアップの設定がすべて設定されているので、コンピュータの電源が入ってさえいれば、バックアップ日を忘れたり、スケジュールしたとおりにバックアップが実行されないことがなくなるという利点があります。

### ファイルバックアップ

ファイルバックアップを選択すると、選択した個々のファイルとフォルダがバックアップされます。後で同じファイルをもう一度バックアップする場合は、更新バックアップを行うと作業が簡単になり、リソースなどを節約できます。

ファイルバックアップは、ハードウェア障害や不可抗力（火事など）によって発生するデータ紛失の防止に役立ちます。そのため、データが失われたときにできるだけ最新の状態をリストアできるように、頻繁にバックアップすることをお勧めします。

### ドライブバックアップ

ドライブバックアップを選択すると、プログラムやオペレーティングシステムを含むドライブ全体（ハードディスクやパーティション）がバックアップされます。バックアップするドライブは選択できます。

ファイルバックアップとは異なり、ドライブバックアップでは、リストア時にプログラムとオペレーティングシステムがリストアされます。そのため、ドライブバックアップは、ハードウェア障害に備えてオペレーティングシステムとプログラムを一括して設定する場合に便利です。

## ペリファイ

Nero BackItUp を利用して、既存のバックアップをペリファイすることができます。Nero BackItUp では、そのバックアップを使ってリストアプロセスを正常に実行できるかどうかがペリファイされます。このプロセスでは、データの完全性が確認され、バックアップされたデータがソースデータと比較されます。バックアップの直後にペリファイを実行するときに、バックアップの間にデータを変更していない場合は、この機能を使用してすべてのデータが正常にバックアップされたかどうかをペリファイできます（データのペリファイ）。

### 以下も合わせてご覧下さい:

- [自動バックアップ](#)→ 17
- [ファイルバックアップを実行する](#)→ 27
- [ドライブバックアップを実行する](#)→ 31
- [バックアップをペリファイする](#)→ 41
- [Nero BackItUp でリストアする](#)→ 43

## 5 自動バックアップ

Nero BackItUp を使用して自動バックアップを設定および構成できます。自動バックアップを設定すると、コンピュータの通知領域に表示され、指定したフォルダがバックグラウンドでバックアップされます。

次の 2 つのバックアップオプションから 1 つを選択できます。

- ファイルとフォルダを内蔵および外付けのハードディスクに自動的にバックアップする自動バックアップを有効にする
- Nero オンラインバックアップによりファイルとフォルダをオンラインで自動的にバックアップする自動バックアップを有効にする

前者の自動バックアップオプションでは、バックアップがハードディスクに保存されますが、後者の自動バックアップオプションでは、インターネットサービスの Nero オンラインバックアップを使用して、バックアップがオンラインで保存されます。

ハードディスクに保存する自動バックアップを使用する場合は、バックアップスケジュールを指定できます。オンラインで保存する自動バックアップでは、監視対象フォルダに変更が加えられるたびにバックアップが自動的に行われます。



自動バックアップでは、外付けまたは内蔵のドライブが NTFS ファイルシステム以外でフォーマットされている場合、そのドライブを NTFS ファイルシステムでフォーマットします。フォーマットが行われると、ドライブ上のデータはすべて失われます。



Nero オンラインバックアップでは、オンラインデータストレージが提供されます（有料）。バックアップするファイルをアップロードするには、ブロードバンドインターネット接続（1MB 以上の DSL など）を使用することをお勧めします。インターネット接続にかかる費用、およびインターネットサービスの Nero オンラインバックアップを使用するのにかかる費用は、ユーザーの負担となります。

## 5.1 自動バックアップを使用してハードディスクに保存する

Nero BackItUp を使用して、内蔵または外付けのハードディスクにファイルやフォルダを自動的にバックアップする自動バックアップを設定および構成できます。使用するドライブは空にしておくことをお勧めします。自動バックアップを設定すると、Windows の通知領域に表示されます。自動バックアップでは、すべてのハードディスク上のすべてのフォルダが、指定した順番で定期的にバックアップされます。また、個々のフォルダを選択して独自のタイムスケジュールを指定することもできます。

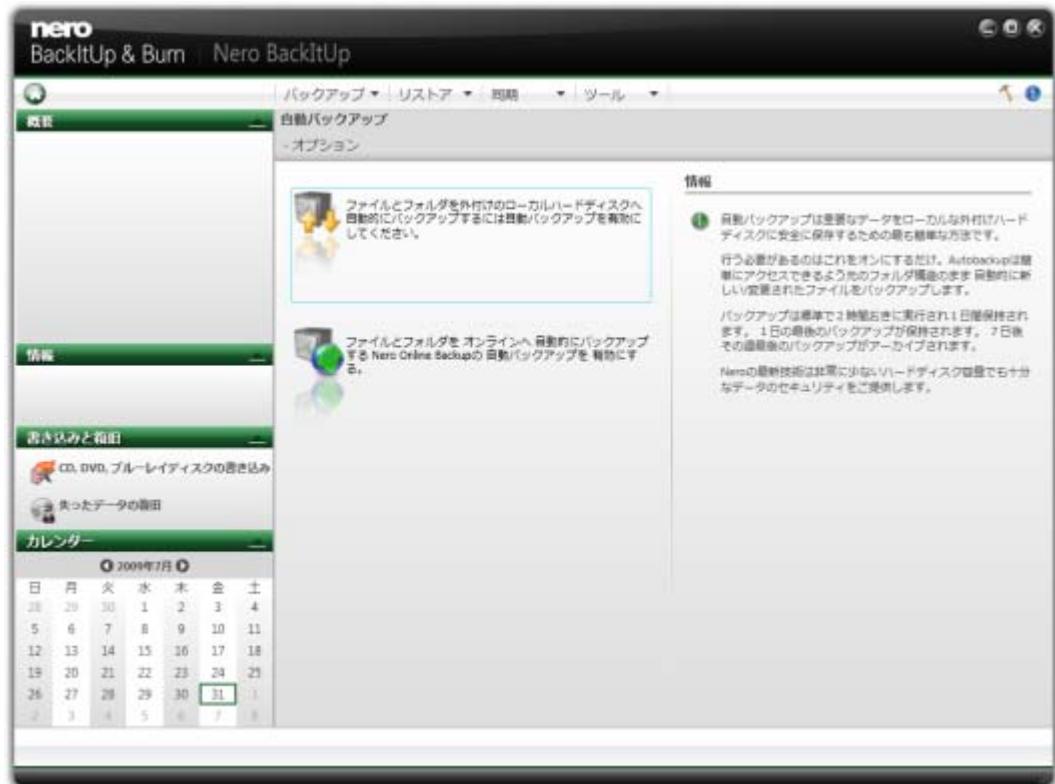
定期的にバックアップを実行するときは、自動バックアップを設定することを強くお勧めします。バックアップの設定がすべて設定されているので、コンピュータの電源が入ってさえいれば、バックアップ日を忘れたり、スケジュールしたとおりにバックアップが実行されないことがなくなるという利点があります。



自動バックアップでは、外付けまたは内蔵のドライブが NTFS ファイルシステム以外でフォーマットされている場合、そのドライブを NTFS ファイルシステムでフォーマットします。フォーマットが行われると、ドライブ上のデータはすべて失われます。

自動バックアップを設定したりその設定を変更したりするには、次の手順を実行します。

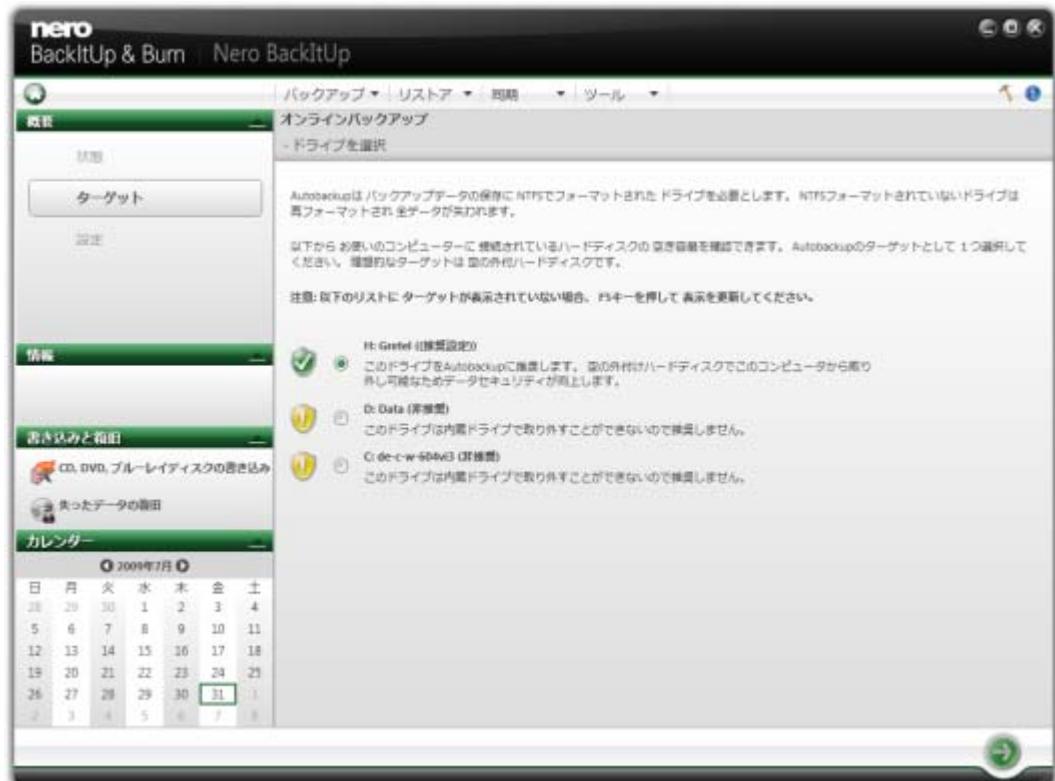
1. [ バックアップ ] > [ 自動実行 ] メニューをクリックします。  
→ [ 自動バックアップ - オプション ] 画面が表示されます。



自動バックアップ - オプション

2. 該当する [ 自動バックアップ ] 項目を選択します。

- Nero BackItUp で空の外付けハードディスクを検出できなかった場合は、その後の処理方法を確認するウィンドウが開きます。ターゲットドライブを自分で選択するには、[ いいえ、別のターゲットを選択します ] ボタンをクリックします。
- [ 自動バックアップ - ターゲットデバイスを選択してください ] 画面が表示されます。



自動バックアップ - ターゲットデバイスを選択してください

3. 目的のターゲットを選択して、 ボタンをクリックします。

- ドライブが NTFS システムでフォーマットされます。[ 進行状況 ] ウィンドウが開き、フォーマットの進行状況が表示されます。
- [ 自動バックアップ - 自動バックアップ状態 ] 画面が表示されます。

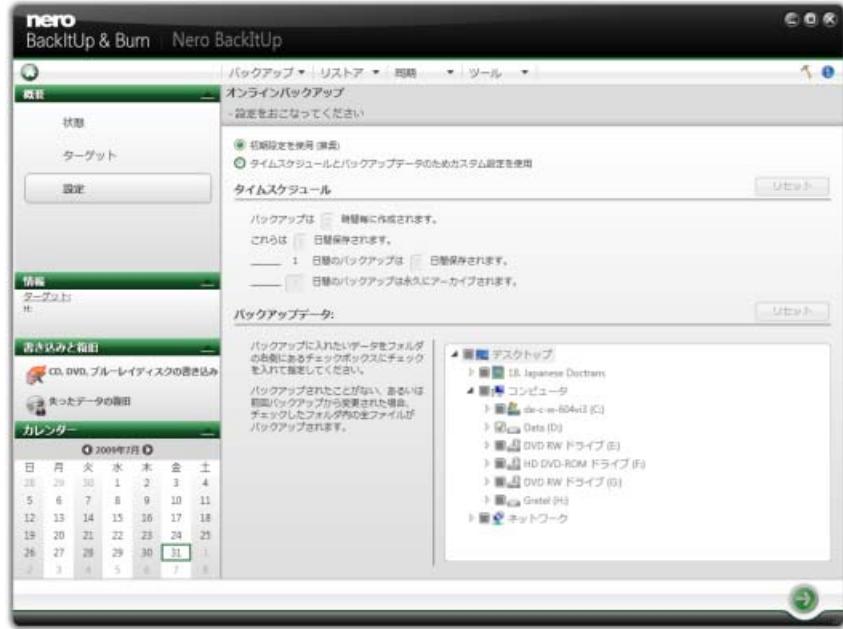


自動バックアップ - 自動バックアップ状態

4. タイムスケジュールやバックアップするフォルダに関するデフォルト設定を変更する場合は、次の手順を実行します。

1. [ 設定 ] エリアの [ 編集 ] ボタンをクリックします。

→ [ 自動バックアップ - 設定の指定 ] 画面が表示されます。



2. [ タイムスケジュールとバックアップデータにカスタム設定を使用する ] オプションボタンを選択します。
3. 必要な値を [ タイムスケジュール ] エリアに入力します。[ リセット ] ボタンをクリックして、値をいつでもデフォルト設定に戻すことができます。
4. [ バックアップデータ ] エリアで、バックアップするフォルダのチェックボックスを選択します。
5.  ボタンをクリックします。

→ [ 自動バックアップ - 自動バックアップ状態 ] 画面が再び表示されます。

5. 最初のバックアップをすぐに手動で開始する場合は、[ 状態 ] エリアの [ バックアップを開始 ] ボタンをクリックします。  
→ 指定したフォルダの最初の完全バックアップが実行されます。[ 状態 ] エリアの [ 進行状況 ] バーで進行状況を監視できます。
6.  ボタンをクリックします。  
→ 最終画面が表示されます。これで自動バックアップが設定され、指定した設定に基づいて自動的にバックアップの更新が実行されるようになります。



### 自動バックアップをオフにする

自動バックアップをオフにするには、[ 自動バックアップ状態 ] 画面の  ボタンをクリックします。

## 5.2

### 自動バックアップを使用してオンラインで保存する

Nero BackItUp では、インターネットサービスの Nero オンラインバックアップをバックアップ場所として利用して、オンラインで自動的にファイルとフォルダをバックアップする自動バックアップを設定および構成できます。自動バックアップを設定すると、Windows の通知領域に表示され、指定したフォルダが指定した順にバックグラウンドでバックアップされます

同じファイルを定期的にバックアップし、コンピュータが独自にデータにアクセスできるようになる場合は、自動バックアップを設定することを強くお勧めします。

自動バックアップの設定に従って自動バックアッププロセスを実行できるようにするには、どのフォルダ内のどのファイルタイプを自動的にバックアップするかを設定し、バックアップターゲットを定義してください。



Nero オンラインバックアップでは、オンラインデータストレージが提供されます（有料）。バックアップするファイルをアップロードするには、ブロードバンドインターネット接続（1MB 以上の DSL など）を使用することをお勧めします。インターネット接続にかかる費用、およびインターネットサービスの Nero オンラインバックアップを使用するのにかかる費用は、ユーザーの負担となります。



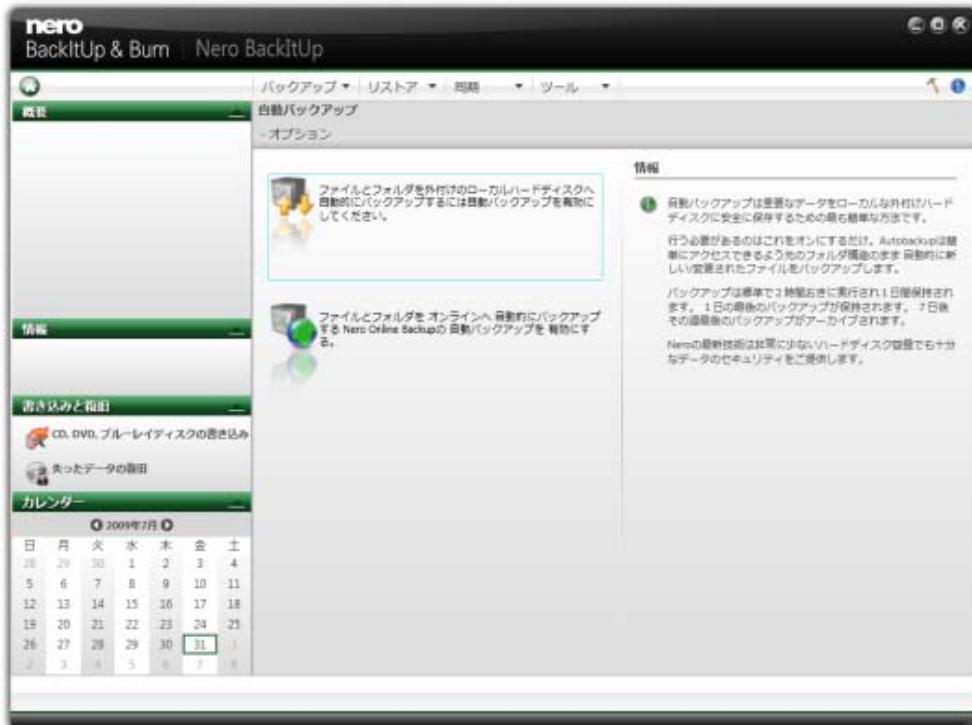
更新バックアップ方式は、自動バックアップを利用してバックアップを自動的に実行する場合に使用されます。このプロセスでは、以前バックアップしたデータが、変更したデータに上書きされます。そのため、バックアップバージョンは存在せず、過去のバックアップバージョンにアクセスすることはできません。

監視対象フォルダから削除されているファイルは、バックアップには残っています。これらのファイルもバックアップから削除したい場合は、[自動バックアップ状態]画面から利用できる削除機能を使用してください。

自動バックアップを設定したりその設定を変更したりするには、次の手順を実行します。

1. [バックアップ] > [自動バックアップ] メニューをクリックします。

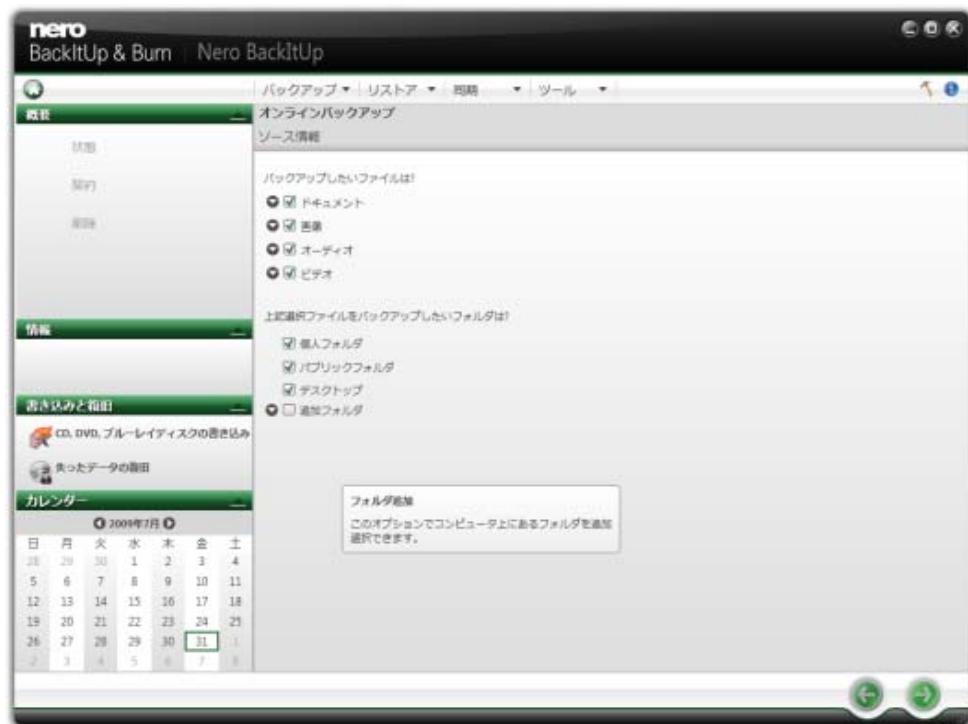
→ [自動バックアップ - オプション] 画面が表示されます。



自動バックアップ - オプション

2. 該当する [自動バックアップ] 項目を選択します。

→ [ソース情報] 画面が表示されます。



オンライン自動バックアップ - ソース情報

3. バックアップするファイルタイプを指定します。
  1. 設定するファイルタイプの前にある ▼ ボタンをクリックします。
  2. バックアップに含めるファイルタイプの前にあるチェックボックスを選択します。
  3. バックアップから除外するファイルタイプの前にあるチェックボックスを選択解除します。
  4. ファイルタイプリストの最後にある [ ファイルタイプ追加 ] チェックボックスを選択して、バックアップに追加するファイルタイプの拡張子を入力します。
4. 自動バックアップで監視するフォルダを指定します。
  1. バックアップに含めるフォルダの前にあるチェックボックスを選択します。
  2. バックアップから除外するフォルダの前にあるチェックボックスを選択解除します。
  3. 監視リストに独自のフォルダを追加するには、[ 追加フォルダ ] チェックボックスを選択して、▼ ボタンをクリックします。

5.  ボタンをクリックします。
 

→ Nero オンラインバックアップサービスにまだ登録していないか、自動バックアップがオフになっている場合は、[ Nero オンラインバックアップ - アカウントを作成するか既存アカウントの情報を入力 ] 画面が表示されます。この画面でアカウント情報を入力できます。
6. Nero オンラインバックアップサービスにまだ登録していない場合は、該当するオプションボタンを選択します。
7.  ボタンをクリックします。
 

→ [ Nero オンラインバックアップ - 新規アカウント作成 ] 画面が表示されます。
8. バックアップストレージと登録期間を選択します。
9. アカウント用のパスワードを選択します。
10. メールアドレスを入力します。
11. [ 規定条項 ] リンクをクリックして、規定条項を十分に読んでください。規定条項に同意する場合は、[ 私は契約条項を確認しました ] チェックボックスを選択します。これに同意しなければ登録はできません。
12.  ボタンをクリックします。
 

→ [ 自動バックアップ - 自動バックアップ状態 ] 画面が表示されます。ここでは、バックアップ状態と登録情報を表示できるほか、Nero オンラインバックアップでストレージからファイルやフォルダを削除できます。
13.  ボタンをクリックします。
 

→ 指定したフォルダの最初の完全バックアップが実行されます。タスクバーで状態の進行状況を監視できます。最終画面が表示されます。自動バックアップが設定され、指定した設定に基づいて自動的にバックアップの更新が実行されます。



#### 自動バックアップをオフにする

自動バックアップをオフにするには、[ 自動バックアップ状態 ] 画面の  ボタンをクリックします。

## 6 ファイルバックアップを実行する

Nero BackItUp を使用して、ファイルバックアップを実行できます。ファイルバックアップでは、個々のファイルをバックアップして、後でリストアできます。ドライブバックアップと異なり、このオプションではオペレーティングシステムやプログラムはリストアできません。

最初の手順は、バックアップするファイルやフォルダを選択することです。

次の手順は、バックアップを保存するターゲットを選択することです。バックアップをハードディスクやリムーバブルデータメディアに保存したり、バックアップをディスクに書き込んだり、オンラインストレージを使用したりできます。

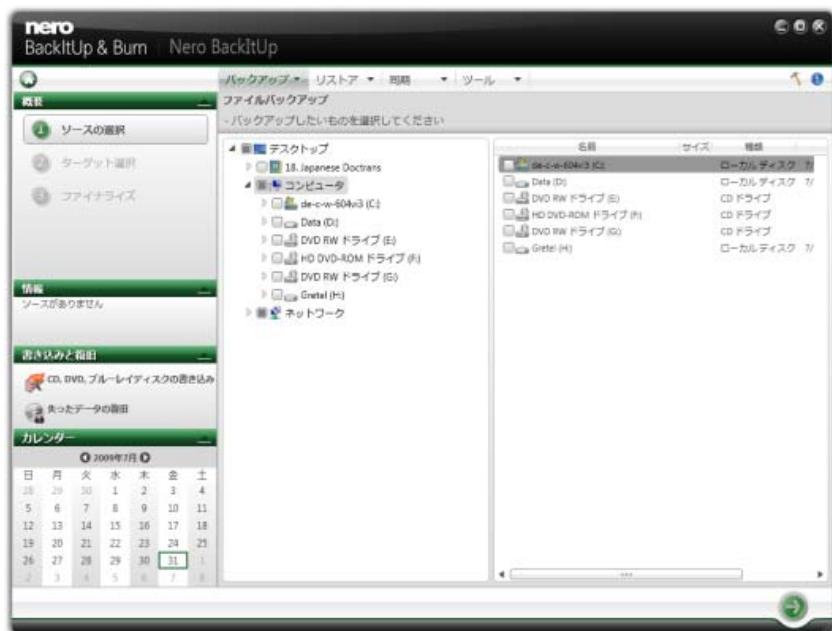
最後に、希望に応じて設定を実行できます。

ファイルをバックアップするには、次の手順を実行します。

1. [ バックアップ ] > [ ファイルバックアップ ] メニューをクリックします。

→ [ ファイルバックアップ -

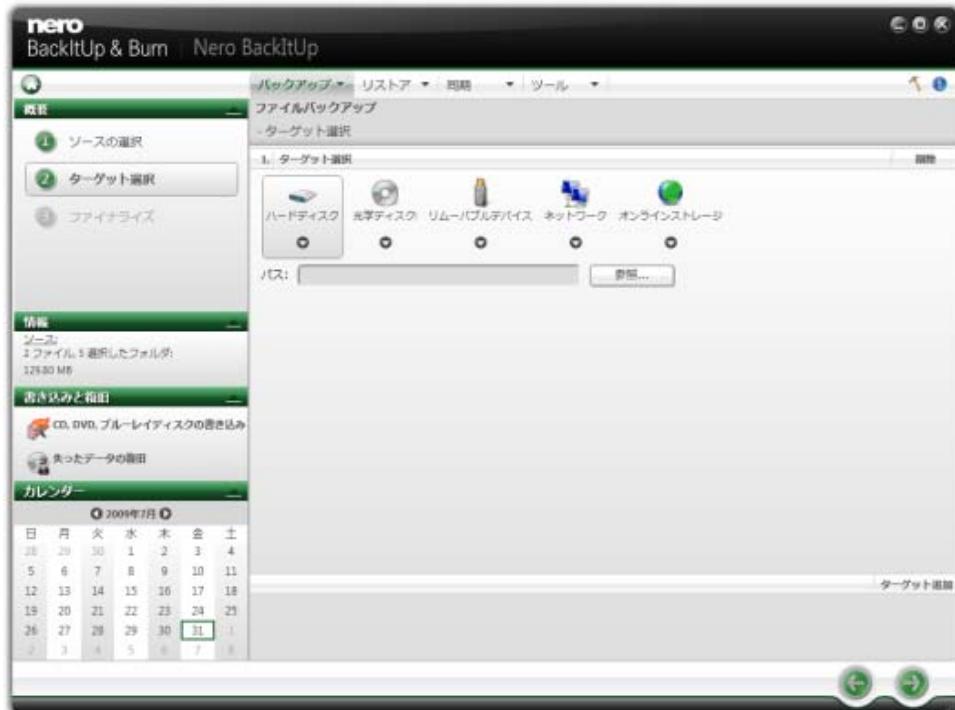
バックアップしたいものを選択してください ] 画面が表示されます。



ファイルバックアップ - バックアップしたいものを選択してください

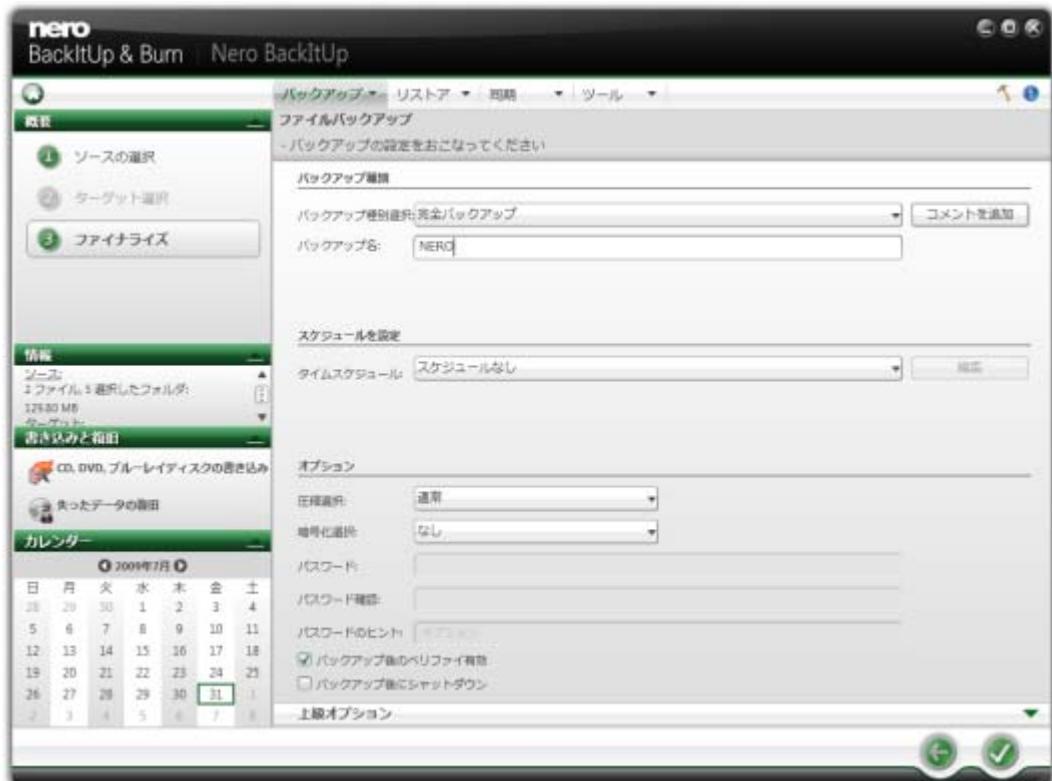
## ファイルバックアップを実行する

2. バックアップに追加するフォルダまたはファイルの前にあるチェックボックスを選択します。  
左側でフォルダを選択すると、そのフォルダ内のファイルが右側に表示されます。  
→ 選択したファイルは、バックアップに追加されます。
3.  ボタンをクリックします。  
→ [ファイルバックアップ - ターゲットを選択] 画面が表示されます。



## ファイルバックアップ - ターゲットを選択

4. 目的のターゲットを示すアイコンをクリックして、ドロップダウンメニューからターゲットを指定します。
5. [参照] ボタンをクリックして、選択したターゲットパスを指定します。
6. 異なるターゲットにバックアップする場合は、[ターゲットの追加] ボタンをクリックして、前の 2 つの手順を繰り返します。
7.  ボタンをクリックします。  
→ [ファイルバックアップ - バックアップを設定] 画面が表示されます  
(「[\[バックアップを設定\] 画面](#)」を参照)。



ファイルバックアップ - バックアップを設定

8. [ バックアップ名 ] 入力フィールドにバックアップの名前を入力します。
9. このバックアップのスケジュールを設定するか、このバックアップを定期的に実行する場合は、次の手順を実行します。
  1. [ タイムスケジュール ] ドロップダウンメニューからバックアップスケジュールのタイプを選択します。
  2. スケジュールを指定する場合は、[ 編集 ] ボタンをクリックします。  
→ [ タイムスケジュールを設定 ] ウィンドウが開きます。
  3. 開始日など、自分のバックアップスケジュールに該当する時間設定を選択します。
  4. [ バックアップ種別選択 ] ドロップダウンメニューから、以降のバックアップに使用するバックアップタイプを選択します（「バックアップタイプ」を参照）。
10. 必要に応じて、[ オプション ] 領域で他の設定を構成します。
11. 必要に応じて、[ 上級オプション ] 領域で追加設定を指定します（「上級オプションの概要」を参照）。

12.  ボタンをクリックします。

→ ファイルバックアップが実行され、最終画面が表示されます。タスクバーで、処理の進行状況を確認できます。

## 7 ドライブバックアップを実行する

Nero BackItUp を使用して、ドライブバックアップを実行できます。ファイルバックアップとは異なり、ドライブバックアップでは、リストア時にプログラムとオペレーティングシステムがリストアされます。

ドライブバックアップの更新はできません。

最初の手順は、バックアップするドライブを選択することです。

次の手順は、バックアップを保存するターゲットを選択することです。バックアップをハードディスクやリムーバブルデータメディアに保存したり、ディスクに書き込んだり、オンラインストレージを使用したりできます。ドライブをバックアップすると、通常、バックアップファイルはかなり大きなサイズになります。バックアップをディスクに書き込む場合は、複数のディスクが必要になります。最初のバックアップディスクは必ずブータブルディスクになります。バックアップをディスクに書き込まない場合でも、緊急時に CD/DVD からコンピュータを起動できる（およびドライブのリストアができる）ように、ブータブルディスクを作成しておくととても便利です。

最後に、希望に応じて設定を実行できます。



### 管理者権限

ハードディスクとパーティションをバックアップおよびリストアするには、管理者権限が必要です。

ドライブをバックアップするには、次の手順を実行します。

1. [ バックアップ ] > [ ドライブバックアップ ] メニューをクリックします。  
→ [ ドライブバックアップ - ドライブまたはパーティションを選択 ] 画面が表示されます。
2. バックアップに追加するドライブまたはパーティションの前にあるチェックボックスを選択します。左側でフォルダを選択すると、その情報が右側に表示されます。  
→ 選択したドライブまたはパーティションは、バックアップに追加されます。
3. ボタンをクリックします。  
→ [ ドライブバックアップ - ターゲットを選択 ] 画面が表示されます。

4. 目的のターゲットを示すアイコンをクリックし、ドロップダウンメニューからターゲットを指定します。
5. [参照] ボタンをクリックして、選択したターゲットパスを指定します。
6. 異なるターゲットにバックアップする場合は、[ターゲットの追加] ボタンをクリックして、前の 2 つの手順を繰り返します。
7.  ボタンをクリックします。  
→ [ドライブバックアップ] -  
[バックアップを設定] 画面が表示されます（「[\[バックアップを設定\] 画面](#)」を参照）。
8. [バックアップ名] フィールドでバックアップ名を選択します。
9. このバックアップのスケジュールを設定するか、このバックアップを定期的に実行する場合は、次の手順を実行します。
  1. [タイムスケジュール] ドロップダウンメニューからバックアップスケジュールのタイプを選択します。
  2. [編集] ボタンをクリックします。  
→ [タイムスケジュールを設定] ウィンドウが開きます。
  3. 開始日など、自分のバックアップスケジュールに該当する時間設定を選択します。
10. 必要に応じて、[オプション] 領域で他の設定を構成します。
11. 必要に応じて、[上級オプション] エリアで追加設定を指定します（「[上級オプションの概要](#)」を参照）。
12.  ボタンをクリックします。  
→ ドライブバックアップが実行され、最終画面が表示されます。[進行状況] バーで、処理の進行状況を確認できます。

## 8 [ バックアップ設定 ] 画面

バックアップするソースを選択して、バックアップのターゲットを指定したら、[ ファイル / ドライブバックアップ ] 画面でバックアップを設定して、バックアッププロセスを開始します。



ファイルバックアップ - バックアップを設定

[ バックアップ種別 ] エリアでは、次の設定オプションが使用できます。

バックアップ種別選択	バックアップタイプを指定します。[ 完全バックアップ ] 、 [ 更新バックアップ ] 、 [ 追記バックアップ ] 、 [ 差分バックアップ ] の 4 つのタイプから選択できます。 これらの項目は、ファイルバックアップをスケジュール設定する場合（後で同じバックアップを実行する場合）のみ使用できます。ドライブバックアップは常に [ 完全バックアップ ] です。
------------	---

[ バックアップ設定 ] 画面

バックアップ名	バックアップ名を指定します。
---------	----------------

[ タイムスケジュール ] エリアでは、次の設定オプションが使用できます。

タイムスケジュール	<p>いつ、どのくらいの頻度でバックアップするかを指定します。次の項目から選択できます。</p> <p>[ 一度 ] : 一度だけバックアップします。</p> <p>[ 毎日 ] : 每日バックアップします。</p> <p>[ 毎週 ] : 毎週 1 日以上の定義された曜日にバックアップします（毎週火曜日と木曜日など）。</p> <p>[ 毎月 ] : 毎月バックアップします。</p> <p>[ アイドル時 ] : コンピュータが非アクティブのとき（アクティブなアプリケーションがなく、ユーザー入力がないとき）にバックアップを開始します。</p> <p>[ システム起動時 ] : オペレーティングシステムの起動時にバックアップを開始します。</p> <p>[ ログオン時 ] : システムへのログイン時にバックアップを開始します。</p> <p>[ スケジュールなし ] : バックアップをただちに一度実行します。スケジュール設定はできません。</p> <p>[ ディレクトリ変更時 ] : バックアップのソースが変更されたときにバックアップを開始します。</p>
編集	<p>[ タイムスケジュールを設定 ] ウィンドウが開きます。ここで、（最初の）バックアップの開始日時などを指定できます。</p> <p>このボタンは、[ 一度 ]、[ 毎日 ]、[ 毎週 ]、[ 毎月 ]、および [ アイドル時 ] のスケジュールタイプで使用できます。</p>

[ オプション ] エリアでは、次の設定オプションが使用できます。

圧縮選択	バックアップ前にデータを圧縮します。ここで圧縮率を指定します。
------	---------------------------------

暗号化選択	暗号化機能を有効にし、下にある入力フィールドで指定したパスワードを使ってバックアップを暗号化できるようにします。標準的な暗号化手順と AES 暗号化手順のどちらかを選択します。
パスワード/パスワード確認	暗号化パスワードを指定します（このパスワードは、後でバックアップをリストアするときに必要になります）。
パスワードのヒント	パスワードを忘れた場合に役立つヒントを設定できます。
バックアップ後のペリファイ有効	バックアップ後に、データが完全で正しいことを確認します。
バックアップ後のPCシャットダウン	バックアッププロセスが終了すると、コンピュータの電源が自動的に切れます。



Nero BackItUp Agent のコンテキストメニューで、ジョブの終了後にコンピュータをシャットダウンするオプションを選択できます。Nero BackItUp Agent はコンピュータの通知領域に表示されます。

以下も合わせてご覧下さい:

『 バックアップとリストアの上級オプションの概要 → 49

## 8.1 バックアップタイプについて

Nero BackItUp には、4 つのバックアップタイプがあります。

- 完全バックアップ
- 差分バックアップ
- 追記バックアップ
- 更新バックアップ

[ 完全バックアップ ] では、選択したファイルとフォルダをすべてバックアップします。最初に実行するバックアップは常に完全バックアップです

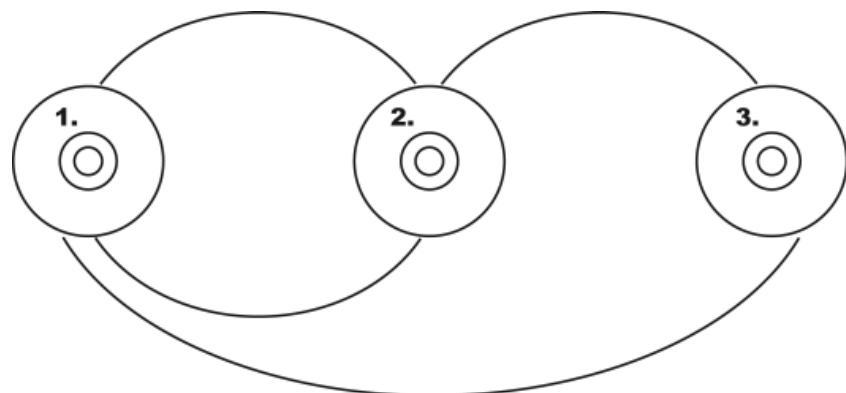
[ 追記バックアップ ] では、前回のバックアップと比較して変更があったファイルをすべて保存します

[ 差分バックアップ ] では、最初のバックアップと比較して変更があったファイルをすべて保存します

[ 更新バックアップ ] タイプでは、実際の手順はバックアップの作成先のメディアによって次のように異なります。

- [ 更新バックアップ ] でハードディスクをバックアップする場合は、以前バックアップしたデータは変更したデータに上書きされます。つまり、古いバージョンは消去され、過去のバックアップ状態を利用することはできなくなります。
- [ 更新バックアップ ] で前回書き込まれたディスクにバックアップする場合は、[ 追記バックアップ ] で説明した手順と同じになります。この場合、フォルダは新規セッションで生成されます。

3種類の [ 完全バックアップ ] 、 [ 追記バックアップ ] 、および [ 差分バックアップ ] では、どのメディアにバックアップするかは関係ありません。たとえば、ディスクにスペースがあれば、過去のバックアップ ( Nero BackItUp は自動的にマルチセッションでディスクを記録しています ) で使用したディスクを利用することができます。新しい媒体にバックアップすることもできます。



追記バックアップ ( 上 ) と差分バックアップ ( 下 )

追記バックアップと差分バックアップの違いについて、例を示して次に説明します。

写真が 100 枚あって、これらをバックアップするとします。最初の ( 完全 ) バックアップには 100 枚の写真が入ります。次に、その写真のうち 25 枚を変更して再度バックアップすることにします。追記バックアップまたは差分バックアップを選択します ( 2 回目のバック

## [ バックアップ設定 ] 画面

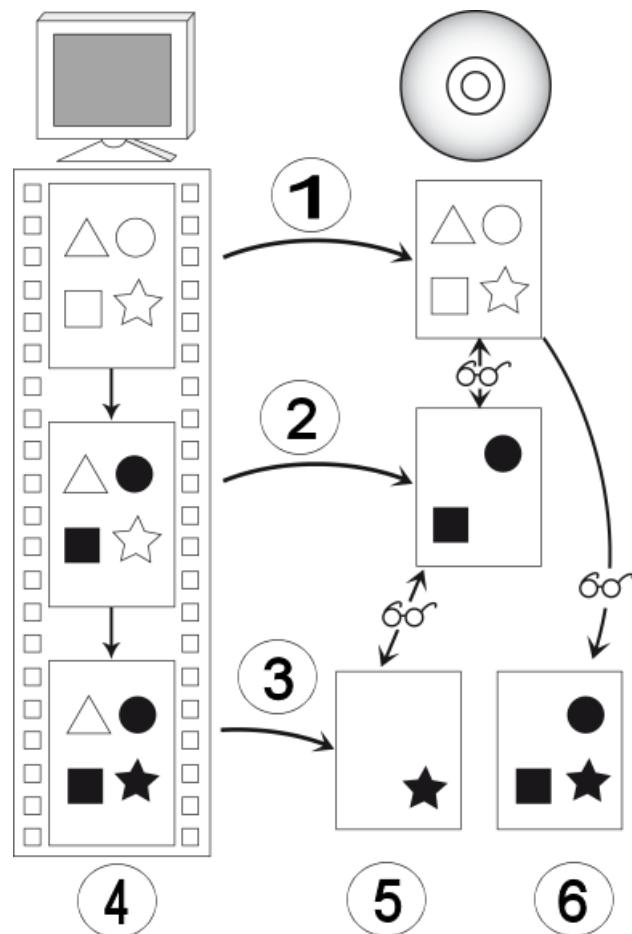
アップにどのバックアップタイプを選択してもかまいません)。変更した 25 枚の写真がバックアップされます。次に別の 10 枚の写真を変更して、再度バックアップします。

[ 追記バックアップ ] を選択した場合は 10 枚の写真がバックアップされます。具体的には前回のバックアップから変更があった写真がバックアップされます ( Nero BackItUp では、現在の状況と前回のバックアップとを比較します)。

[ 差分バックアップ ] を選択した場合は 35 枚の写真がバックアップされます。具体的には最初のバックアップから変更があった写真がバックアップされます ( Nero BackItUp では、現在の状況と最初のバックアップとを比較します)。

つまり、追記バックアップの方が使用する空き容量が少なくて済みますが、通常はさらに多くのバックアップバージョンが作成されることになります。その結果、数多くの小規模なバージョンを次々にリストアする ( および準備する ) 必要があるので、リストアに時間がかかります

差分バックアップでは、これが逆になります。つまり、より多くの空き容量が必要ですが、必要なバックアップバージョンは 2 つだけ ( 最初のバックアップと前回のバックアップ ) です。その結果、リストアするときには 2 つのバージョンだけがリストア ( 準備 ) されます。前回のバージョンに最初のバックアップからのすべての変更が含まれているためです。



差分/バックアップと追記/バックアップのデータ/バックアップの相違点

1	1回目のバックアップ	4	コンピュータ上のデータ 白: オリジナル データ 黒: 変更されたデータ
2	2回目のバックアップ	5	追記/バックアップ 最初のバックアップがバックアップ されてから変更されたデータ
3	3回目のバックアップ	6	差分/バックアップ 前回のバックアップがバックアップ されてから変更されたデータ

次の表には、利用方法に応じて適切な更新タイプを判断するために役立つ情報が記載されています。

バックアップタイプ	バックアップセットに必要な空き容量	リストアに必要な労力	古いバージョンにアクセスできますか？
完全バックアップ	非常に高	非常に低（現在のバージョンのみが必要）	はい
差分バックアップ	中	低（現在のバージョンと最初のバージョンが必要）	はい
追記バックアップ	低	高（すべてのバージョンが必要）	はい
ハードディスクへのバックアップ更新 ( 古いバージョンは消去されます )	非常に低	非常に低（現在のバージョンのみが必要）	いいえ

## 8.2 タイムスケジュールについて

タイムスケジュールを指定した場合は、指定した時間にバックアッププロセスが自動的に実行されます。これにはシステム時間が使用されます。

これを実行するには、コンピュータの電源が入っていて、オペレーティングシステムが動作している必要があります。スケジュール設定したバックアップはバックグラウンドで実行されるため、Nero BackItUp が動作している必要はありません。

選択した設定によって、ユーザーがログオンしていなくてもバックアップを実行できる場合と、ユーザーのログオンが必要になる場合があります。

バックアップをスケジュールどおりに実行するために、選択したターゲットメディアを準備します。

- バックアップをディスクに書き込む場合は、空のディスクがバーナーに挿入されているかを確認します。

## [ バックアップ設定 ] 画面

- FTP サーバーにバックアップする場合は、コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。
  - リムーバブルメディアまたは外付けハードディスクにバックアップする場合は、該当するデバイスが接続されているか、あるいはインストールされているかを確認します。
- バックアップが問題なく完了すると、そのことを知らせるメッセージがシステムトレイに表示されます。 [ 上級オプション ] エリアで通知を設定している場合は、メールが送信されます（ネットワークまたはインターネットの接続が確立している場合）。

## 9 バックアップをベリファイする

Nero BackItUp を利用して、既存のバックアップをベリファイすることができます。Nero BackItUp では、そのバックアップを使ってリストアプロセスを正常に実行できるかどうかがベリファイされます。このプロセスでは、データの完全性が確認され、バックアップされたデータがソースデータと比較されます。バックアップの直後にベリファイを実行するときに、バックアップの間にデータを変更していない場合は、この機能を使用してすべてのデータが正常にバックアップされたかどうかをベリファイできます（データのベリファイ）。

バックアップをベリファイするには、次の手順を実行します。

1. [ バックアップ ] > [ ベリファイ ] メニューをクリックします。  
→ [ バックアップのベリファイ ] 画面が表示されます。
2. 選択リストからバックアップを選択するか、[ 参照 ] ボタンを使用して別のバックアップを選択します。バックアップが FTP サーバー上にある場合は、[ FTP を参照 ] ボタンをクリックします。  
→ ベリファイオプションボタンが利用できるようになり、選択したバックアップに関する情報が表示されます。



バックアップのベリファイ

3. ファイル/バックアップを選択した場合は、ファイル/バックアップに使用するチェックタイプを指定してください。
  1. すべてのファイルがバックアップされたかをベリファイするには、[コンテンツによるベリファイ] オプションボタンを選択します。
  2. バックアップしたファイルの CRC チェックサムと、元のファイルの CRC チェックサムを比較するには、[CRC でベリファイ] オプションボタンを選択します。
  3. バックアップ後にファイルの変更があったかをベリファイするには、[変更日時でベリファイ] オプションボタンを選択します。
4. ドライブバックアップを選択した場合は、ドライブバックアップに使用するチェックタイプを指定してください。
  1. すべてのファイルがバックアップされたかをベリファイするには、[コンテンツによるベリファイ] オプションボタンを選択します。
  2. バックアップの利用可能性をベリファイするには、[ファイルバックアップ形式のベリファイ] オプションボタンを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
  - ベリファイが実行されます。
  - ベリファイが正常終了すると、ベリファイの結果を通知するウィンドウが表示されます。



「データベリファイ作業が正常に終了しました。」メッセージは、ベリファイしたデータにエラーがなく、リストアできる状態であることを意味します。

「データのベリファイプロセス失敗」メッセージが表示された場合は、ベリファイしたバックアップを使ってリストアプロセスを正常に実行できることは保証されません。これにはいくつかの理由が考えられます。たとえば、バックアップファイルにエラーがある場合や、コンピュータ上に比較するデータがない場合などです。

→ メッセージウィンドウが閉じます。これで、バックアップのベリファイは完了です。

## 10 Nero BackItUp でリストアする

### 10.1 ファイルバックアップをリストアする

Nero BackItUp を使用して、ファイルバックアップをリストアできます。このプロセスでは、ファイルバックアップの内容がリストアされます。リストアプロセスから個々のファイルを除外したり、特定のファイルを選択してリストアしたりできます。ドライブバックアップを選択して個々のファイルをリストアすることも可能です。ドライブバックアップのリストアプロセスとは異なり、ファイルバックアップでは、プログラムやオペレーティングシステムはリストアできません。

最初の手順は、リストアするファイルやフォルダを選択することです。

次の手順は、バックアップをリストアするパスを選択し、希望に応じて設定を行うことです。

ファイルバックアップをリストアするには、次の手順を実行します。

1. [リストア] > [ファイルのリストア] メニューをクリックします。  
→ [ファイルとフォルダをリストア -  
バックアップまたはリストアの検索結果からファイル/フォルダを選択してください]  
画面が表示されます。実行済みのバックアップが中央のペインに表示されます。



バックアップを選択

2. バックアップを使用できるようにするには、次の手順を実行します。
  1. バックアップがディスクにある場合は、ドライブにディスクを挿入します。
  2. バックアップがハードディスク、ネットワークドライブ、またはリムーバブルメディアに保存されている場合は、コンピュータがそれぞれのドライブにアクセスできることを確認してください。
3. 対象のバックアップを選択します。
 

→ バックアップのファイルやフォルダが、右側のエリアに表示されます。



リストアしたいバックアップが表示されない場合は、[参照]ボタンをクリックしてハードディスクを検索するか、[FTPを参照]ボタンをクリックしてFTPサーバーを検索します。

## Nero BackItUp でリストアする



バックアップが自動バックアップによってオンラインストレージの Nero オンラインバックアップに保存されている場合は、[ オンライン自動バックアップ ] をクリックして、[ 登録 ID ] と [ パスワード ] を入力します。

- リストアするフォルダまたはファイルの前にあるチェックボックスを選択します。左側でフォルダを選択すると、そのフォルダ内のファイルが右側に表示されます。



### 検索表示



ボタンをクリックすると [ 検索表示 ] が開きます。ここでは、バックアップから特定のファイルを検索して、[ リストアバスケット ] に追加できます。

- ボタンをクリックします。

→ [ ファイルとフォルダをリストア - リストアオプションを選択 ] 画面が表示されます。



リストアオプション

- バックアップを元のパスにリストアする場合は、[ オリジナルのパスにリストア ] オプションボタンを選択します。

7. ユーザー固有のフォルダを移植する場合は、[ ユーザー固有フォルダを現在のユーザーに移植 ] チェックボックスを選択します。



[ ユーザー固有フォルダを現在のユーザーに移植 ] とは、[ My Documents ] などユーザーに固有のフォルダを、現在ログインしているユーザーのパスにリストアすることです。このチェックボックスを選択解除すると、Nero BackItUp は、バックアップが保存されている場所のユーザーパスにユーザー固有フォルダをリストアします。

8. バックアップがリストアされる場所のパスを自分自身で指定するには、次の手順を実行します。

1. [ 現在のパスにリストア ] オプションボタンを選択します。

2. [ 参照 ] ボタンをクリックします。

→ [ フォルダの参照 ] ウィンドウが開きます。

3. 目的のリストアパスを選択して、[ OK ] ボタンをクリックします。

→ [ フォルダの参照 ] ウィンドウが閉じ、選択したパスが転送されます。

4. 元のディレクトリ構造を保持したい場合は、[ オリジナルのディレクトリ構造を保持 ] チェックボックスを選択します。

9. リストアするファイルがコンピュータ上の既存のファイルの場合（またはコンピュータ上にまだある場合）は、[ 干渉を解決するには ] オプションボタンを使用して実行するアクションを選択します。

10. 必要に応じて、[ 上級オプション ] エリアで追加設定を指定します（「[上級オプションの概要→49](#)」を参照）。

11. ボタンをクリックします。

→ リストアが実行され、最終画面が表示されます。タスクバーで、処理の進行状況を確認できます。

以下も合わせてご覧下さい：

バックアップとリストアの上級オプションの概要→ 49

## 10.2 ドライブバックアップをリストアする

Nero BackItUp を使用して、ドライブバックアップをリストアできます。このプロセスでは、ドライブバックアップの内容がリストアされます。プログラムとオペレーティングシステムもリストアされます。アクティブなハードディスクやパーティションをリストアする場合、通常では問題が起こります。たとえば、アクティブなハードディスクやパーティションをリストアのためにロックすることはできないのが普通です。この場合には、Nero BackItUp で作成する Nero BackItUp ImageTool を使ってリストアプロセスを実行することをお勧めします。



### 管理者権限

ハードディスクとパーティションをバックアップおよびリストアするには、管理者権限が必要です。



技術的な理由から、1回のリストアプロセスでは、1つのパーティションのみか、すべてのパーティションを含む1つのハードディスクしかリストアできません。

ドライブバックアップをリストアするには、次の手順を実行します。

1. [リストア] > [ドライブのリストア] メニューをクリックします。  
→ [ドライブをリストア - リストアするパーティションを選択] 画面が表示されます。実行済みのバックアップが中央のペインに表示されます。
2. バックアップを使用できるようにするには、次の手順を実行します。
  1. バックアップがディスクにある場合は、ドライブにディスクを挿入します。
  2. バックアップがハードディスク、ネットワークドライブ、またはリムーバブルメディアに保存されている場合は、コンピュータがそれぞれのドライブにアクセスできることを確認してください。
3. 対象のバックアップを選択します。  
→ バックアップのドライブやパーティションが、右側のエリアに表示されます。ドライブバックアップの一部ではないパーティションは、淡色表示されます。



リストアしたいバックアップが表示されない場合は、[ 参照 ] ボタンをクリックしてハードディスクを検索するか、[ FTP を参照 ] ボタンをクリックして FTP サーバーを検索します。

4. リストアするドライブまたはパーティションの前にあるオプションボタンを選択します。
5. ボタンをクリックします。  
→ [ ドライブをリストア -  
リストアターゲットを選択 ] 画面が表示されます。ソースパーティションと選択したターゲットが表示されます。
6. バックアップを元のハードディスクにリストアする場合は、[ オリジナルのハードディスクにリストア ] オプションボタンを選択します。
7. バックアップを他のハードディスクに保存する場合は、次の手順を実行します。
  1. [ 他のハードディスクにリストア ] オプションボタンを選択します。
  2. 目的のターゲットを示すアイコンをクリックし、ドロップダウンメニューからターゲットを指定します。
8. 必要に応じて、[ 上級オプション ] エリアで追加設定を行います（「[上級オプション→49](#)」を参照）。
9. ボタンをクリックします。  
→ リストアが実行され、最終画面が表示されます。タスクバーで、処理の進行状況を確認できます。

## 11 バックアップとリストアの上級オプションの概要

[ 上級オプション ] エリアで、バックアップまたはリストアの上級オプションを設定できます。構成画面または設定画面で [ 上級オプション ] をクリックすると、このエリアを表示できます。バックアップについての高度な知識がある場合にのみ、初期設定を変更することをお勧めします。



次のオプションが使用できます。

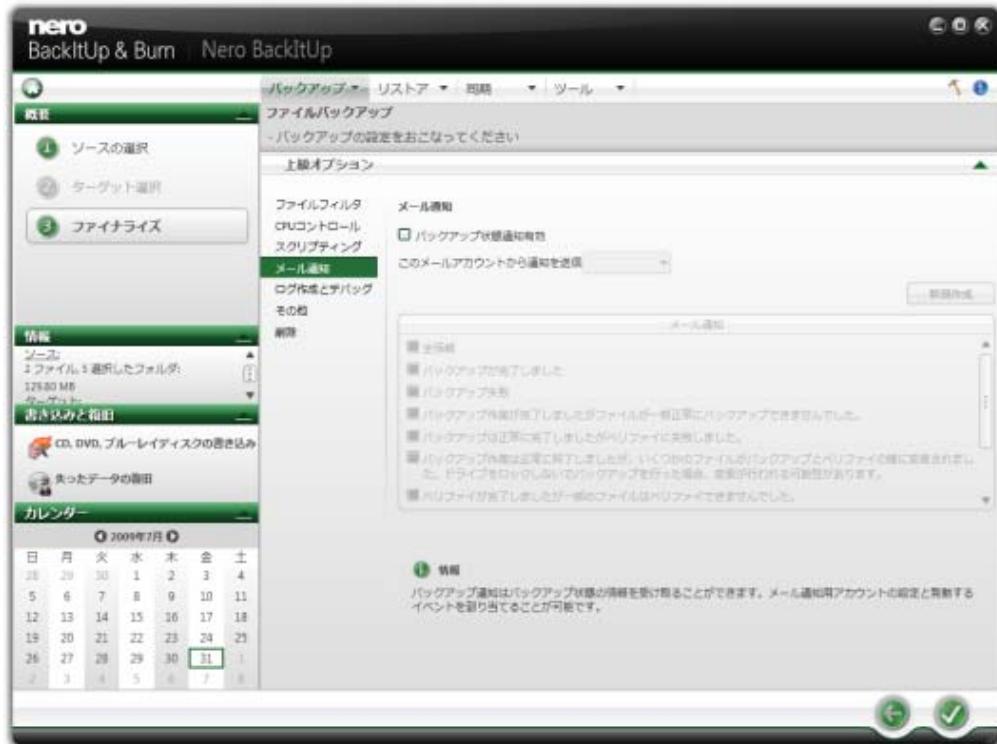
ファイルフィルタ	バックアップ用フィルタの使用に関するオプションです。 このオプションが使用できるのは、ファイルバックアップのみです。
CPU コントロール	コンピュータシステムでのバックアップの優先度を選択します。この設定によって、システムへの常時アクセスを可能にしたり、バックアップを最優先にしたりできます。

## バックアップとリストアの上級オプションの概要

スクリプティング	スクリプティングを有効にします。アクションスクリプトの自動書き出しを選択したり、そのスクリプトのある手順の前または後のどちらで実行するかを設定したりできます。また、実行するアプリケーションを選択できます。
メール通知	特定のイベントに対する自動メール通知を設定するオプションがあります ( 「 <a href="#">メール通知→51</a> 」 を参照 )。
ログ作成とデバッグ	ログファイルの詳細レベルを選択します。ログファイルをバックアップに含めるか、別の場所に保存することができます。
その他	複数の特別なオプションがあります ( 「 <a href="#">その他→52</a> 」 を参照 )。
書き込み	書き込み速度を選択したり、書き換え可能なディスクを自動消去したりするなど、複数の書き込みオプションがあります。また、Nero BackItUp をディスクに含めることもできます。 このオプションを使用できるのは、バックアップのみです。
削除	バックアップを自動的に削除するオプションがあります。 このオプションを使用できるのは、バックアップのみです。

## 11.1 メール通知

Nero BackItUp を使用して、特定のイベントの自動メール通知を設定できます。



上級オプション - メール通知

次の設定オプションが使用できます。

チェックボックス バックアップ/リストア状態通知有効	メール通知の送信を有効にします。
ドロップダウンメニュー このメールアカウントから通知を送信	メール送信に使用するアカウントを選択します。
ボタン 新規作成	[メールアカウント] ウィンドウを開きます。ここで新しいメールアカウントを作成できます。

リスト	[ メールイベント ] ウィンドウが開きます。ここで、通知の送信先メールアドレスを入力できます。[ 全情報 ] をクリックすると、すべてのイベントがメール通知のトリガーイベントとして選択されます。
メール通知	

## 11.2 その他

ここでは、一般的なオプションを指定できます。

バックアップでは、次の設定オプションが使用できます。

チェックボックス ユーザーアクセス権をバックアップしない	<p>このチェックボックスを選択解除すると、Nero BackItUp は、フォルダとファイルのアクセス権が設定されている場合に、そのアクセス権もバックアップします。</p> <p>このチェックボックスを選択解除すると、バックアップを実行した同じコンピュータ上にある同じアカウントにしかそのバックアップをリストアできなくなりますので、ご注意ください。</p> <p>データメディアが NTFS ファイルシステムを使用している場合のみ、この機能を実行できます。このオプションが使用できるのは、ファイルバックアップのみです。</p>
チェックボックス このジョブはユーザーのログイン時のみ実行	<p>ジョブを設定したユーザーがシステムにログオンしている場合のみ、バックアップを開始します。</p> <p>このチェックボックスを選択解除されると、ユーザーがログインしていないときにはバックアップは実行されません。この場合、ジョブを設定するときに Nero BackItUp からユーザー情報を求められます。</p> <p>バックアップのスケジュールを設定している場合のみ、この機能を実行できます。</p>

チェックボックス <b>このジョブは常時サイレント 実行</b>	状態メッセージを表示しないでバックアップを実行します。
チェックボックス <b>シャドウコピーを使用</b>	ファイルバックアップに使用するシャドウコピーを作成します。作業中に開いているファイルも保存できます。このオプションが使用できるのは、ファイルバックアップのみです。
チェックボックス <b>ボタンを押してバックアップ を実行</b>	<p>バックアップジョブを [ Push for Backup ] サービスに割り当てます。このサービスを開始するには、サービスに対応している外付けハードディスクと、ハードディスクの [ Push for Backup ] ボタンに対応するソフトウェアが必要です。このサービスによって、事前に定義済みのバックアップが Nero BackItUp によって自動的に実行されます。</p> <p>そのようなハードドライブが接続している場合にのみ使用できます。この機能についての詳細は、通常はハードディスクまたはアプリケーションの [ ヘルプ ] で参照できます。</p>
リスト <b>ファイルコンペア方法</b>	<p>Nero BackItUp が使用するベリファイタイプを選択し、同じファイルが確実に置き換えられるようにします。</p> <p>[ 変更日時 ] : 変更された日付でファイルを比較します。</p> <p>[ NTFS 変更ジャーナル ] : NTFS 変更ジャーナルでファイルを比較します。</p> <p>[ CRC ] : ドライブバックアッププロセス中に CRC チェックサムを計算します。これによってセキュリティが強化されますが、時間がかかります。</p> <p>このオプションが使用できるのは、ファイルバックアップのみです。</p>

チェックボックス ファイルコンペアの際は時間 の違いを無視する	バックアップ後にファイルをベリファイするときに、ファイルプロパティの時間の違いを無視します。（たとえば、ファイルが非常に大きいために Nero BackItUp でのバックアップに時間がかかった場合に、時間の違いが発生する可能性があります）。 このオプションが使用できるのは、ファイルバックアップのみです。
---------------------------------------	--



[ ユーザーのアクセス権をバックアップしない ] チェックボックスを選択解除すると、バックアップが実行されたコンピュータ上のアカウントにしかそのバックアップをリストアできなくなります。この場合、他のアカウントまたはコンピュータではバックアップをリストアできません。アクセス権管理についての高度な知識がある場合にのみ、この機能を使用することをお勧めします。

リストアでは、次の設定オプションが使用できます。

チェックボックス ファイルとフォルダのアクセ ス権をリストア	このチェックボックスを選択すると、Nero BackItUp は、ファイルとフォルダのアクセス権が保存されている場合に、そのアクセス権をリストアします  このチェックボックスを選択すると、バックアップを実行した同じコンピュータ上にある同じアカウントにしかそのバックアップをリストアできなくなることにご注意ください。  データメディアが NTFS ファイルシステムを使用している場合のみ、この機能を実行できます。このオプションが使用できるのは、ファイルバックアップのみです。
チェックボックス このジョブは常時サイレント 実行	状態メッセージを表示しないでバックアップを実行します。

## 12 Nero BackItUp で同期を実行する

Nero BackItUp を使用して、フォルダを同期できます。目的のバックアップタスクを開始するには、[ 同期 ] メニューをクリックします。

同期では、2つのフォルダ間でファイルがやりとりされます。2つのフォルダは、同じコンピュータ上にあっても、それぞれ異なるコンピュータまたはデバイス上にあってもかまいません。たとえば、デスクトップコンピュータとノートブックコンピュータを同期して、対応するディレクトリに同じ内容が含まれるようにすることができます。

### 12.1 フォルダを同期する

Nero BackItUp を使用すると、2つのフォルダを同期できます。

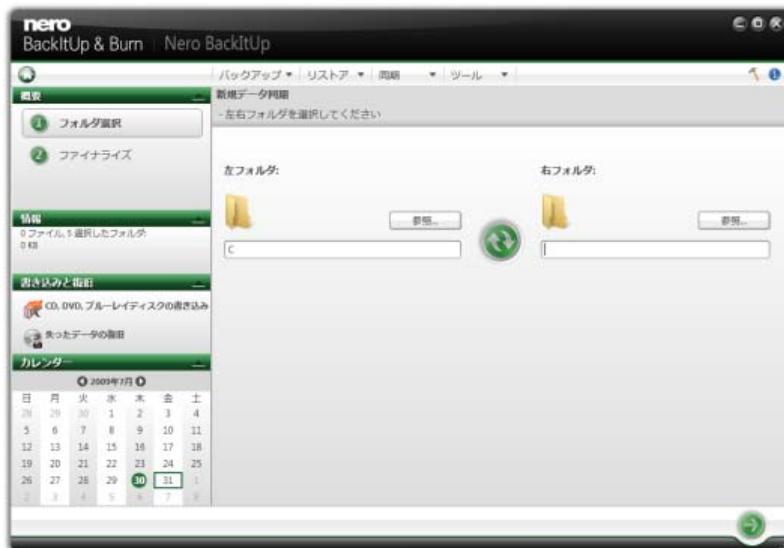
最初の手順は、同期する 2つのフォルダ（左フォルダと右フォルダ）を選択することです。

次の、そして最後の手順は、適切な設定を行うことです。

同期を行うには、次の手順を実行します。

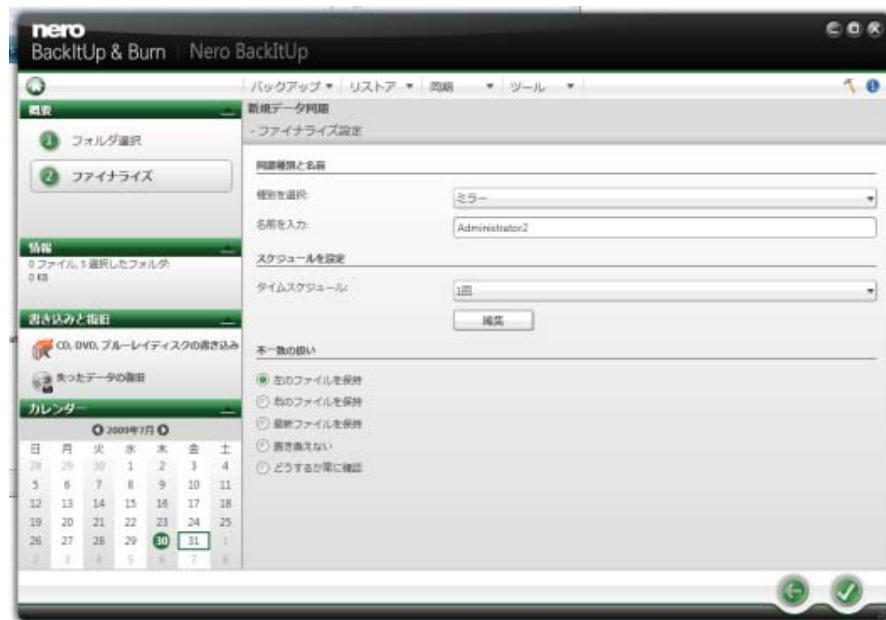
1. [ 同期 ] > [ 新規作成 ] メニューをクリックします。

→ [ 新しいデータ同期 - 左右フォルダを選択してください ] 画面が表示されます。



新しいデータ同期 - 左右フォルダを選択してください

2. [左フォルダ] の [参照] ボタンをクリックして、左側のフォルダを選択します。
3. [右フォルダ] の [参照] ボタンをクリックして、右側のフォルダを選択します。
4.  ボタンをクリックします。  
→ [新しいデータ同期 - 設定のファイナライズ] 画面が表示されます。



新しいデータ同期 - 設定のファイナライズ

5. [タイプを選択] ドロップダウンメニューから同期タイプを選択します（「同期タイプについて→57」を参照）。
6. [名前を入力] 入力フィールドに、同期ジョブの名前を入力します。
7. 同期ジョブをスケジュール設定するか、定期的に実行する場合は、次の手順を実行します。
  1. [タイムスケジュール] ドロップダウンメニューから、同期スケジュールのタイプを選択します。
  2. スケジュールを指定する場合は、[編集] ボタンをクリックします。  
→ [タイムスケジュールを設定] ウィンドウが開きます。
  3. 開始日など、自分のバックアップスケジュールに該当する時間設定を選択します。
8. [不一致の扱い] エリアで、希望する不一致の扱いオプションを選択します。
9.  ボタンをクリックします。  
→ 同期ジョブが開始され、最終画面が表示されます。

## 12.2 同期タイプについて

Nero BackItUp には 5 つの同期タイプがあります。

- ミラー
- コピーする
- パーシャル同期
- アップデート
- パーシャルミラー

[ ミラー ] タイプは 2 つのフォルダを同期します。新しいファイルと更新されたファイルが、一方のフォルダからもう一方のフォルダにコピーされます。一方のフォルダから削除されたファイルは、もう一方のフォルダからも削除されます。

[ コピー ] タイプは、新しいファイルと更新されたファイルを、左フォルダから右フォルダにコピーします。左フォルダから削除されたファイルは、右フォルダからも削除されます。

[ パーシャル同期 ] タイプは、更新されたファイルを左のフォルダから右のフォルダにコピーします。

[ アップデート ] タイプには [ コピー ] タイプと同じ機能がありますが、[ アップデート ] タイプで削除は行われません。

[ パーシャルミラー ] タイプには [ ミラー ] タイプと同じ機能がありますが、[ パーシャルミラー ] タイプで削除は行われません。

Nero BackItUp は、最初の実行時に内容または名前が変更されたファイルを認識できません。これは、同期情報が別のファイルに保存されており、この情報と変更箇所が比較されるためです。

また、Nero BackItUp が不一致を取り扱う方法を指定することもできます。たとえば、たとえば、[ パーシャル同期 ] タイプを使用して同期ジョブを実行すると、更新されたファイルが左フォルダから右フォルダにコピーされます。しかし、右フォルダのファイルが左フォルダの対応ファイルより新しいと、不一致が発生します。選択内容に応じて、Nero BackItUp は、指定されたファイルを（左右どちらにあるか、または最新ファイルであるかにかかわらず）保持するか、右フォルダのファイルを置き換えないようにするか、または処理方法を尋ねるようになります。

## 13 ツール

### 13.1 ブータブル Nero BackItUp ImageTool を作成する

Nero BackItUp を使用すると、Nero BackItUp ImageTool を含むブータブル CD または DVD を作成できます。Nero BackItUp オプションに入力した FTP サーバーが適用されます。

ブータブル CD/DVD を作成するには、次の手順を実行します。

1. バーナーに書き込み可能な CD/DVD を挿入します。
2. [ツール] > [Nero BackItUp ImageTool ディスクを作成] メニューをクリックします。
3. [ブータブルディスクの作成] 画面が開きます。



ブータブルディスクの作成

4. [光学ディスク] ドロップダウンメニューから、該当するバーナーを選択します。

5. [ディスクタイプ] ドロップダウンメニューで、挿入されたディスクのタイプ ( CD または DVD ) を選択します。
6.  ボタンをクリックします。  
→ 作成プロセスが始まります。タスクバーのメッセージを利用してプロセスを追跡できます。作成処理が完了すると、ディスクが取り出されます。これで、Nero BackItUp ImageTool の起動に使用できるブータブルディスクの作成は完了です。

以下も合わせてご覧下さい:

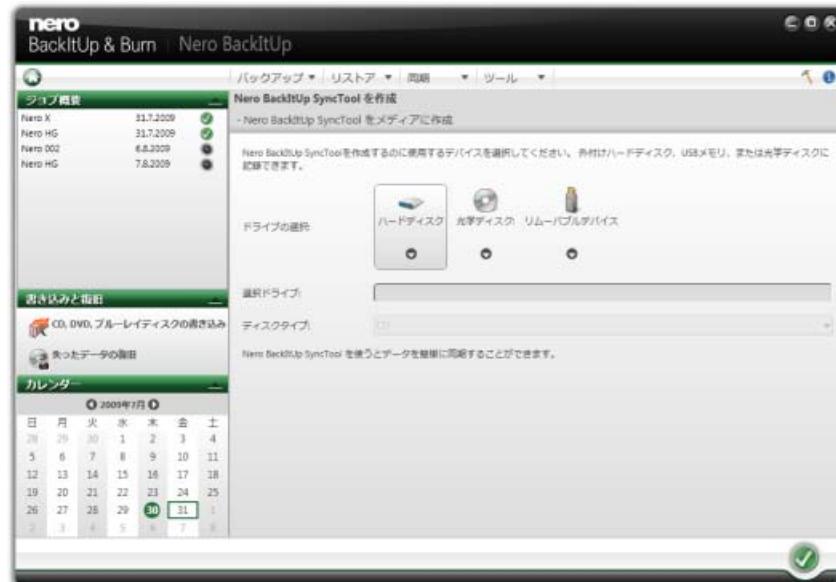
 [Nero BackItUp ImageTool→ 72](#)

## 13.2 スタンドアローン Nero BackItUp SyncTool を作成する

Nero BackItUp を使用して、Nero BackItUp SyncTool を作成できます。これは同期機能に使用するツールで、ハードディスク、リムーバブルメディア ( USB ) 、またはオプティカルディスクから実行できます。

Nero BackItUp SyncTool を作成するには、次の手順を実行します。

1. [ツール] > [Nero BackItUp SyncTool メディアを作成] メニューをクリックします。  
→ [ブータブルディスクの作成] 画面が開きます。



スタンドアローン同期クライアント作成

2. Nero BackItUp SyncTool をハードディスクに作成する場合は、[ ハードディスク ] ドロップダウンメニューから該当するハードディスクを選択します。
3. Nero BackItUp SyncTool を光学ディスクに作成する場合は、次の手順を実行します。
  1. バーナーに書き込み可能な CD/DVD を挿入します。
  2. [ 光学ディスク ] ドロップダウンメニューから、該当するバーナーを選択します。
  3. [ ディスクタイプ ] ドロップダウンメニューで、挿入されたディスクのタイプ ( CD または DVD ) を選択します。
4. Nero BackItUp SyncTool をリムーバブルメディアに作成する場合は、次の手順を実行します。
  1. リムーバブルメディアをコンピュータに接続します。
  2. [ リムーバブルメディア ] ドロップダウンメニューから、リムーバブルメディアを選択します。
5.  ボタンをクリックします。
 

→ 作成プロセスが始まります。タスクバーのメッセージを利用してプロセスを追跡できます。作成処理が完了すると、ディスクが取り出されます。これでスタンダードアローン Nero BackItUp SyncTool の作成は完了し、すぐに起動することができます。

以下も合わせてご覧下さい:

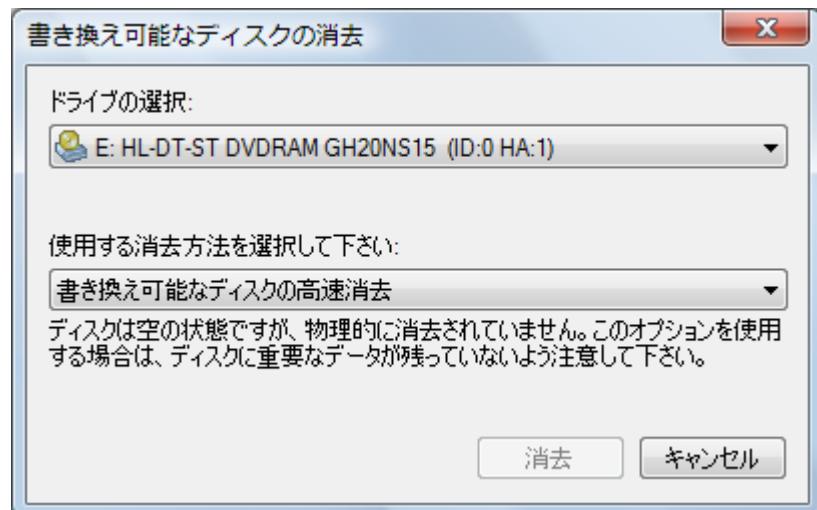
 Nero BackItUp SyncTool → 84

### 13.3 [ 書き換え可能なディスクの消去 ] ウィンドウ

Nero BackItUp を使用すると、書き換え可能なディスク ( RW ディスク ) を消去できます ( ただし、バーナーがこの機能に対応している場合に限ります ) 。これには、次の消去方法が使用できます。

高速消去では、データは物理的にはディスクから削除されず、既存の内容への参照が消去されてアクセスできなくなるだけです。データは復元することができます。

完全消去では、ディスクをゼロで上書きすることでディスクからデータが削除されます。ディスクの内容が通常の方法で復元できなくなります。繰り返し完全に消去することで、第三者がディスクの内容を再構築にくくなります



[ 書き換え可能なディスクの消去 ] ウィンドウ

[ 書き換え可能なディスクの消去 ] ウィンドウでは、次の設定オプションが使用できます。

選択リスト <b>ドライブの選択</b>	レコーダーを指定します。
選択リスト <b>消去方法を選択</b>	消去方法を指定します。次に示す 2 つのオプションを選択できます。  [ 書き換え可能なディスクの高速消去 ] では、ディスクからすべてのデータを物理的に消去するのではなく、ディスク内容への参照のみを消去します。ディスクは、物理的にはデータがそのまま残されますが、空のディスクと認識されます。この方法では、1 ~ 2 分間でディスクを消去できます。  [ 書き換え可能なディスクの完全消去 ] 方式では、ディスクから物理的にすべてのデータを消去します。ディスクの内容が通常の方法で復元できなくなります。繰り返し完全に消去することで、第三者がディスクの内容を再構築しにくくなります。この方法は、もう一方の方法に比べるとディスクの消去に時間がかかります（消去時間はディスクの種類によって異なります）。

## ツール

ボタン <b>消去</b>	消去処理を開始します。
ボタン <b>キャンセル</b>	操作を取り消して、ウィンドウを閉じます。

## 14

## Nero BackItUp オプションの概要

[ オプション ] ウィンドウでは、Nero BackItUp を使用して作業するためのオプションを設定できます。このウィンドウを開くには、 ボタンをクリックします。

次のオプションが使用できます。

一般	シェルコンテキストメニューから Nero BackItUp を起動できるようにします。シェルコンテキストメニューには、さまざまな関連情報が用意されています。
ヘルプ	ツールチップを表示します。[ このメッセージを以後表示しない ] チェックボックスで無効にしたすべてのウィンドウを、もう一度有効にすることもできます。
リモート	リモートターゲットを設定します。FTP サーバーを追加、変更、または削除できます。また、プロキシ設定を有効にして構成できます。
メールアカウント	メールアカウント情報を設定します。
ファイルフィルタ	バックアップとリストアに使用できるファイルフィルタを定義します。定義によっては、フィルタを使用して特定のタイプのファイルを含めたり除外したりできます。フィルタは組み合わせることもできます。

以下も合わせてご覧下さい:

- FTP サーバー接続を設定する → 64
- リモートプロキシ → 66
- メールアカウントを設定する → 66
- フィルタを作成する → 68

## 14.1 FTP サーバー接続を設定する

Nero BackItUp を使用すると、FTP サーバーへの接続情報を入力して、そのサーバーをバックアップターゲットとして選択することができます。FTP サーバー自体は Nero BackItUp では提供していません。通常は、Web スペースプロバイダなどの FTP サーバープロバイダの FTP サーバーを利用します。

新しい FTP サーバー接続を設定するには、次の手順を実行します。

1.  ボタンをクリックします。  
→ [ オプション ] ウィンドウが表示されます。
2. 選択リストから [ リモート ] 項目をクリックします。  
→ [ リモート ] 画面が表示され、上部に [ FTP ] タブが表示されます。
3. [ FTP サーバー有効 ] チェックボックスを選択します。
4. [ 新規作成 ] ボタンをクリックします。  
→ [ リモートホスト設定 ] ウィンドウが開きます。



リモートホスト設定

5. [ホスト/サーバ名] 入力フィールドに接続名を入力します。
6. [ホスト/サーバーのアドレス]、[ログイン名]、[パスワード]、[サーバータイプ]、[ポート]、[転送モード] に必要な値を入力します。



[ホスト/サーバーのアドレス]、[ログイン名]、[パスワード]、[サーバータイプ]、[ポート]、[転送モード] の値は、Web スペースのプロバイダなどの FTP サーバープロバイダやネットワーク管理者にお尋ねください。

7. [参照] ボタンをクリックして FTP サーバー上のフォルダを選択し、FTP サーバーへの接続をテストします。

→ [リモートホスト設定] ウィンドウが開きます。Nero BackItUp が FTP サーバーに接続します。



正常に接続できなかった場合、その FTP サーバー接続は保存できないことにご注意ください。

8. Nero BackItUp でバックアップを保存するドライブを、FTP サーバー上で選択するか新しく作成します。

9. [OK] ボタンをクリックします。

10. [保存] ボタンをクリックします。

→ FTP サーバーが保存され、FTP サーバーのリストに表示されます。これで、他の FTP サーバー情報を保存したり、ウィンドウを閉じて FTP サーバーをバックアップやリストアに使用したりできます。



作成された FTP サーバーは、ブータブル CD/DVD を作成するときに保存され、各 Nero BackItUp ImageTool オプションに適用されます (Nero BackItUp ImageTool でこれらを有効にするには、Nero BackItUp ImageTool オプションでネットワークが設定されている必要があります)。

## 14.2 リモートプロキシ

[ オプション ] ウィンドウの [ リモート ] > [ プロキシ ] タブで、プロキシサーバーを有効にして、設定することができます。プロキシを設定する必要があるのは、インターネットなどのネットワークへのアクセスにプロキシを使用する必要がある場合のみです。この場合、プロキシ設定は、オンラインストレージ、FTP サーバー、ネットワーク接続、メール通知の使用など、Nero BackItUp で実行可能なあらゆるネットワークタスクに適用されます。

次の設定オプションが使用できます。

チェックボックス プロキシサーバー使用	プロキシサーバーの接続情報を有効にし、Nero BackItUp で使用できるようにします。
オプションボタン システム設定使用	プロキシ設定を使用します。 これが使用できるのは、システム上でプロキシ設定を構成して保存した場合のみです。
オプションボタン ローカル設定を使用	ローカルプロキシ設定を使用し、下にある入力フィールドに設定を入力できるようにします。



プロキシ接続の正しい設定は、システム管理者かインターネットプロバイダにお尋ねください。



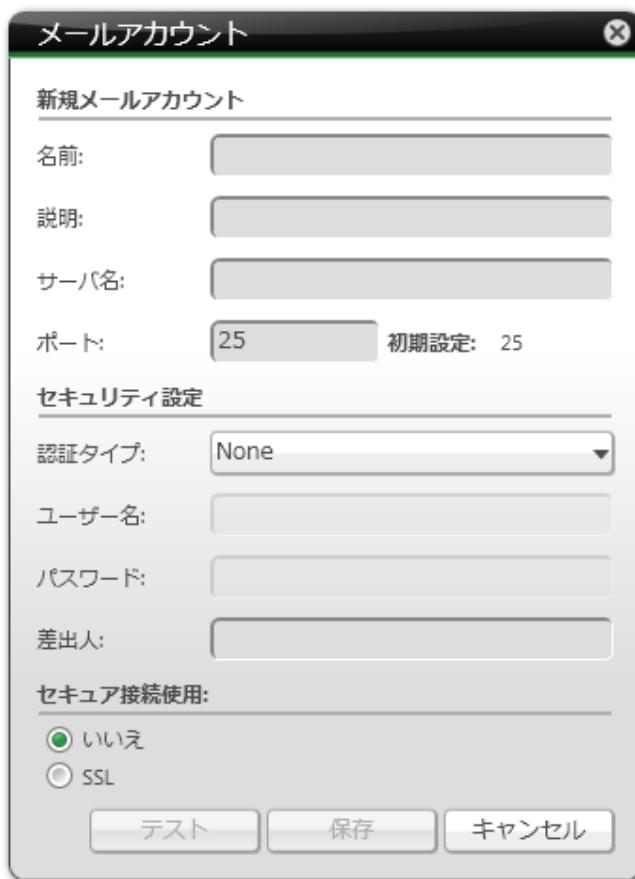
作成したプロキシ接続はブータブル CD/DVD の作成時に保存され、各 Nero BackItUp ImageTool オプションに適用されます。

## 14.3 メールアカウントを設定する

Nero BackItUp では、メールアカウント情報を追加できます。この機能を使用すると、バックアップとリストアのプロセスに関するステータス情報をメールで送信できます。メールの受信者は、バックアップやリストアに関するオプションを設定したのと同じ画面に後から追加します（「[バックアップとリストアの上級オプション](#)」を参照）。

メールアカウントを設定するには、次の手順を実行します。

1.  ボタンをクリックします。  
→ [ オプション ] ウィンドウが表示されます。
2. 選択リストから [ メールアカウント ] 項目をクリックします。  
→ [ メールアカウント ] 画面が表示されます。
3. [ メールアカウント有効 ] チェックボックスを選択します。
4. [ 新規作成 ] ボタンをクリックします。  
→ [ メールアカウント ] ウィンドウが表示されます。



メールアカウント

5. [ 名前 ] 入力フィールドに名前を入力します。
6. [ 説明 ] 入力フィールドに説明を入力します。
7. [ サーバ名 ]、[ ポート ]、[ 認証タイプ ]、[ ユーザー名 ]、[ パスワード ] および安全な接続について、必要な値を入力します。



Nero BackItUp はメールの（受信ではなく）送信にのみアカウント情報を使用するため、[ サーバ名 ] 入力フィールドには SMTP サーバーを入力する必要があることにご注意ください。[ ユーザー名 ] 入力フィールドには、メールアドレスを完全な形式（たとえば、john.doe@domain.example）で入力する必要があります。

[ サーバ名 ]、[ ポート ]、[ 認証タイプ ]、および安全な接続の値は、メールプロバイダかネットワーク管理者にお尋ねください。

8. [ 差出人 ] 入力フィールドに自分のメールアドレスを入力します。
  9. [ テスト ] ボタンをクリックすると接続テストが行われます。
- メッセージウィンドウが表示されます。



インターネットに接続できない場合、メールアカウントは保存できないことにご注意ください。

10. [ 保存 ] ボタンをクリックします。
- メールアカウントが保存され、リストに表示されます。これで、他のメールアカウント情報を保存したり、ウィンドウを閉じてこのメールアカウントをバックアップやリストア実行時のメール通知に使用したりできます。

## 14.4 フィルタを作成する

バックアップやリストアで特定のファイルをフィルタするフィルタを作成できます。特定のバックアップやリストアに使用するフィルタを作成することも、すべてのバックアップやリストアに使用するフィルタを作成することもできます。

1つのフィルタには、特定のフィルタ条件が必ず 1 つあります。最初に各エリアでフィルタ条件を 1 つ選択し、次にそのフィルタの詳細を設定してから、フィルタを保存します。

すべてのバックアップやリストアに使用するフィルタを作成するには、次の手順を実行します。

1.  ボタンをクリックします。
- [ オプション ] ウィンドウが表示されます。

2. [ ファイルフィルタ ] ボタンをクリックします。



特別なバックアップ/リストアのためのフィルタを作成したい場合は、[ ファイルバックアップ/リストア ] 設定画面の [ 上級オプション ] エリアで [ 新規作成 ] ボタンをクリックします。

3. [ 新規作成 ] ボタンをクリックします。

→ [ 新規フィルタの作成 ] ウィンドウが開きます。



新規フィルタの作成

4. [ ファイルの拡張子 ] でフィルタする場合は、次の手順を実行します。

1. 特定のファイル拡張子を持つファイルを除外するには、[ バックアップ除外するファイルタイプ ] オプション項目を選択します。
2. 特定のファイル拡張子を持つファイルを含めるには、[ バックアップに含めるファイルタイプ ] オプション項目を選択します。

3. 青い下線の [ ファイルタイプ ] リンクをクリックします。  
→ [ ファイルタイプをフィルタに追加 ] ウィンドウが開きます。
  4. 左側で項目を選択して、 [ >> ] ボタンをクリックすると、ファイル拡張子が追加されます。
  5. 右側で項目を選択して、 [ >> ] ボタンをクリックすると、ファイル拡張子が削除されます。
  6. 必要に応じて、入力フィールドにユーザー定義のファイル拡張子を入力します。
  7. [ OK ] ボタンをクリックします。  
→ ウィンドウが閉じます。選択したファイル拡張子がフィルタに追加されます。
5. [ 日付 ] でフィルタする場合は、次の手順を実行します。
1. 特定の日付や期間に作成、変更、またはアクセスされたファイルのみを含めるには、このオプション項目を選択します。
  2. 青い下線の [ 日付またはタイムフレーム選択 ] リンクをクリックします。  
→ [ 日付またはタイムフレーム選択 ] ウィンドウが開きます。
  3. カレンダーで特定の日付を選択するか、カレンダーまたは入力フィールドで期間を選択します。
  4. [ OK ] ボタンをクリックします。  
→ ウィンドウが閉じます。選択した日付または期間がフィルタに追加されます。
6. [ サイズ ] でフィルタする場合は、次の手順を実行します。
1. 目的のファイルが条件として満たす必要のある [ 最小 ] サイズまたは [ 最大 ] サイズをオプション項目で指定します。
  2. 入力フィールドに、MB 単位でサイズを指定します。
7. 特定のパスを除外する場合は、次の手順を実行します。
1. [ バックアップ除外するパス ] オプション項目を選択します。
  2. 青い下線の [ パス ] リンクをクリックします。  
→ [ 除外パス ] ウィンドウが開きます。
  3. [ 追加 ] ボタンをクリックします。  
→ ブラウザウィンドウが開きます。

4. 除外するフォルダを選択して、[OK] ボタンをクリックします。  
→ ウィンドウが閉じます。選択したフォルダのパスが [ 以下のパスが除外されます ] リストに追加されます。フォルダとすべてのサブフォルダがフィルタ処理で除外されます。
5. 必要に応じてパスを追加します。
6. もう一度パスを選択する場合は、[ 削除 ] ボタンをクリックします。
7. [OK] ボタンをクリックします。  
→ ウィンドウが閉じます。選択したパスがフィルタに追加されます。
8. 特定のファイルを除外する場合は、次の手順を実行します。
  1. [ バックアップから除外するファイル ] オプション項目を選択します。
  2. 青い下線の [ ファイル ] リンクをクリックします。  
→ [ 除外ファイル ] ウィンドウが開きます。
  3. [ 追加 ] ボタンをクリックします。  
→ ブラウザウィンドウが開きます。
  4. 除外するファイルを選択して、[OK] ボタンをクリックします。  
→ ウィンドウが閉じます。選択したファイルが [ 以下のファイルが除外されます ] リストに追加されます。
  5. 必要に応じてファイルを追加します。
  6. もう一度ファイルを選択する場合は、[ 削除 ] ボタンをクリックします。
  7. [OK] ボタンをクリックします。  
→ ウィンドウが閉じます。選択したファイルがフィルタに追加されます。
9. [ フィルタ名 ] 入力フィールドに、フィルタの名前を入力します。
10. [ ファイルバックアップ ] 画面または [ リストア ] 画面から [ 新規フィルタの作成 ] ウィンドウを開いたものの、毎回のバックアップやリストアで今後もそのフィルタを使用したい場合は、[ このフィルタを保存 ] チェックボックスを選択します。
11. [OK] ボタンをクリックします。  
→ ウィンドウが閉じ、作成したフィルタが適用されて保存されます。

## 15 Nero BackItUp ImageTool

Nero BackItUp ImageTool は、Nero BackItUp に似たバックアップおよびリストアプログラムで、Windows がアクティブでない状態でブータブル CD または DVD から実行されます。ブータブル CD または DVD は Nero BackItUp を使用して作成します。

Nero BackItUp ImageTool は、ドライブをバックアップおよびリストアするために使用されます。Nero BackItUp ImageTool は、CD または DVD からブートされるため、コンピュータのハードディスクはアクティブになりません。つまり、ドライブをバックアップまたはリストアするときにベリファイエラーが発生することはありません。

以下も合わせてご覧下さい:

■ [ブータブル Nero BackItUp ImageTool を作成する](#) → 58

### 15.1 Nero BackItUp ImageTool を起動する

Nero BackItUp ImageTool は、Nero BackItUp で作成したブータブル CD/DVD から起動します。CD/DVD から起動する場合は、ハードディスクにアクセスせずにコンピュータを起動できます。ハードディスクが無効な場合は、ベリファイのエラーを出さずにバックアップやリストアができます。

コンピュータをディスクから起動できるようにするには、次の要件を満たす必要があります。

- ディスクからコンピュータを確実に起動できるようにするには、ディスクドライブが最初の起動ドライブとして扱われるよう、コンピュータの BIOS で起動順序を設定する必要があります（たとえば、CD-ROM、C:、A: など）。
- SCSI CD-ROM ドライブの場合、このドライブは、設定を変更可能な個別の BIOS で SCSI アダプタに接続されている必要があります。（これは、IDE ハードディスクが存在しない場合にのみ動作します。IDE ハードディスクは起動順序で SCSI アダプタより前に位置するためです。）
- Nero BackItUp で作成したブータブル CD/DVD をドライブに入れます。

ディスクからコンピュータを起動し、Nero BackItUp ImageTool を起動するには、次の手順を実行します。

1. コンピュータを起動します。

→ コンピュータが立ち上がり、CD/DVD から起動します。

Nero BackItUp ImageTool がロードされます。画面のメッセージでプロセスを追跡できます。

Nero BackItUp ImageTool の開始画面が表示されます。言語選択リストが表示されます。



**CD/DVD から起動する**

コンピュータが起動するときに、ドライブにすでに CD/DVD が挿入されていることが重要です。このようにしないと CD/DVD が起動して Nero BackItUp ImageTool が実行されないためです。

コンピュータの電源が入っていないときに、CD/DVD を挿入することはできないので、通常のように最初にコンピュータを起動して、CD/DVD を挿入した後でコンピュータをシャットダウンします。

2. [ 言語を選択してください ] 選択リストから、Nero BackItUp ImageTool の言語を選択します。

3. [ OK ] ボタンをクリックします。

→ [ Nero BackItUp ImageTool ] ウィンドウが開きます。

→ ライセンス許諾条項が記載されたウィンドウが開きます。

4. ライセンス許諾条項を十分に読み、条項に同意する場合は該当するチェックボックスを選択してください。この条項に同意しない場合は、Nero BackItUp ImageTool を使用できません。

5. [ 次へ ] ボタンをクリックします。

→ ライセンス許諾条項が記載されたウィンドウが閉じます。[ オプション ] ウィンドウが開き、[ ネットワーク ] タブが最前面に表示されます。ここで、ネットワークを設定するか、ウィンドウを閉じることができます。

→ Nero BackItUp ImageTool をディスクから起動しました。



Nero BackItUp ImageTool の起動後は、CD/DVD は必要ありません。ディスクのバックアップやリストアにドライブが必要であれば、CD/DVD を取り出すことができます。

以下も合わせてご覧下さい:

■ ブータブル Nero BackItUp ImageTool を作成する→ 58

## 15.2 ユーザーインターフェース

バックアップ、リストア、および Nero BackItUp ImageTool で実行できるその他のタスクは、Nero BackItUp ImageTool のユーザーインターフェースから開始します。この画面で、目的のメニューアイコンをクリックすると、タスクを開始できる画面に移動します。

左側のウィンドウ枠にある 

ボタンをクリックして、追加のオプションと機能に関する拡張エリアを表示します。



Nero BackItUp ImageTool

使用できるメニューアイコンは、次のとおりです。

<b>バックアップ</b>	ドライブバックアップを実行します。
<b>リストア</b>	リストアタスクを実行します。システム全体をリストアしたり、個々のファイルをバックアップアーカイブからリストアしたりできます。
<b>ネットワーク</b>	ネットワークを設定して、ネットワークドライブまたは FTP サーバーを使用できるようにします。

ツール	マウントされているパーティションを表示するオプションを提供します。また、シェルコマンドボックスを起動して、Linux のシェルコマンドを入力および実行することもできます。Linux シェルコマンドについての高度な知識がある場合にのみ使用することをお勧めします。
終了	Nero BackItUp ImageTool を終了します。コンピュータシステムを完全にシャットダウンするか、再起動することができます。

### 15.2.1 拡張エリア

ユーザーインターフェースの拡張エリア内にある追加のオプションや機能を表示するには、左側のウィンドウ枠にある  ボタンをクリックします。拡張エリアは、Nero BackItUp ImageTool のすべての画面で使用できます。

[ 拡張 ] エリアでは、次の設定オプションが使用できます。

オプション	[ オプション ] ウィンドウが開き、[ FTP ]、[ ネットワーク ]、および [ キャッシュ ] の設定オプションが表示されます。
ディスクの消去	書き換え可能なディスク ( RW ディスク ) を消去します ( ただし、ドライブがこの機能に対応している場合のみ )。
ディスク情報	ドライブに挿入されているディスクについて、内容 ( 可能な場合 ) や容量などの情報が表示されます。
デバイスの再スキヤン	新しいデバイスの検索

[ レコーダー ] エリアでは、次の設定オプションが使用できます。

ドライブ	レコーダーを指定します。
取り出し	ディスクを取り出します。

## 15.3 ドライブバックアップ

Nero BackItUp ImageTool を使用して、ハードディスクやパーティションをバックアップできます。Nero BackItUp によるドライブバックアップと比べて、Nero BackItUp ImageTool はディスクから起動されるためにドライブがアクティブにならないという利点があります。このため、アクティブなハードディスクをバックアップしても、バックアッププロセス中にペリファアイエラーが発生することはありません。

Nero BackItUp ImageTool を使用してドライブをバックアップするには、まずバックアップソースを選択する必要があります。その後、バックアップをディスクに書き込んだり、ハードディスクに保存したりできます。FTP サーバーに保存することもできます。

デバイスに接続する場合は、拡張エリアで [ デバイスの再スキャン ] ボタンをクリックして、Nero BackItUp ImageTool にデバイスを認識させが必要な場合もあります。

### 15.3.1 ディスクにバックアップを書き込む

Nero BackItUp ImageTool を使用して、ドライブバックアップを作成してディスクに書き込むことができます。

この手順では、バックアップが複数のディスクに書き込まれることを前提としています。

ドライブバックアップをディスクに書き込むには、次の手順を実行します。

1. [ バックアップ ] > [ ドライブバックアップ ] ボタンをクリックします。  
→ [ 手動ドライブバックアップ ] 画面が表示されます。
2. 該当するチェックボックスを選択して、目的のハードディスクまたはパーティションを選択します。  
→ ハードディスクまたはパーティションが選択されます。



バックアップをするハードディスクのパーティションを複数選択することができます。ただし、1回に選択できるハードディスクは1つだけです。

3. [ 次へ ] ボタンをクリックします。  
→ [ ターゲットとオプションを選択 ] 画面が表示されます。
4. [ ターゲット ] ドロップダウンメニューでバーナーを選択します。
5. 必要に応じて追加設定をします。

6. [ 次へ ] ボタンをクリックします。  
→ [ ファイナライズ ] 画面が表示されます。
  7. この画面で設定をベリファイします。
  8. [ バックアップ ] ボタンをクリックします。  
→ [ バックアッププロセス ] 画面が表示され、バックアッププロセスが開始されます。プロセスの状況は、進行状況バーで確認できます。  
→ [ ディスクを入れてください ] ウィンドウが開き、選択していたドライブがイージェクトされます。
  9. 該当する記録可能なディスクを挿入します。  
→ [ ディスクを入れてください ] ウィンドウが閉じて、バックアッププロセスが続行されます ( Nero BackItUp ImageTool によって自動的にマルチセッションディスクが開始されるか、このディスクで作業が続行されます)。  
→ ディスクの記憶容量がいっぱいになった場合は、[ ディスクを入れてください ] ウィンドウが再度開き、ディスクがイージェクトされます。
  10. 記録し終わったディスクを取り出し、新しい空のディスクを挿入します。  
→ バックアッププロセスが再開し、挿入した新しい空のディスクに書き込みます。
  11. ディスクへのバックアップが完了するまで、以上の作業を繰り返します。  
→ バックアッププロセスが完了すると、ディスクがイージェクトされ、[ バックアッププロセス ] ウィンドウが開きます。  
バックアップが完全に書き込まれると、Nero BackItUp ImageTool はデフォルトでデータをベリファイしようとします。このため、書き込まれた順番にディスクが並んでいる必要があります。
-  バックアップが 1 枚のディスクに書き込まれた場合は、ベリファイプロセスは自動的に開始されます。
12. ディスクを取り出します。
  13. [ バックアッププロセス ] ウィンドウの [ ディスクドライブ ] ボタンをクリックします。
  14. ベリファイするバックアップの最初のディスクを挿入します。

15. ディスクが入っているドライブをダブルクリックします。  
→ ベリファイプロセスが開始され、最初のディスクをベリファイします。その後、ディスクがイジェクトされて、[ バックアッププロセス ] ウィンドウが再び開きます。
16. バックアップしたそれぞれのディスクに対して、バックアップした順番で、以上の 2 ステップを繰り返します。  
→ バックアップが完了すると、その内容のメッセージが書かれたウィンドウが表示されます。
17. [ OK ] ボタンをクリックします。  
→ これで、ドライブバックアップがディスクに書き込まれました。ここでログを保存したり、[ 次へ ] ボタンをクリックして別の作業を開始したりできます。

### 15.3.2 ハードディスクや FTP サーバーにバックアップを保存する

Nero BackItUp ImageTool を使用して、ドライブバックアップをハードディスクや FTP サーバーに保存することができます。記憶域メディアとしては、ハードディスク、ネットワークドライブ、およびリムーバブルメディアが一般的にサポートされています。



FTP サーバーを使用できるようにするには、[ オプション ] で FTP サーバーを入力しておく必要があります。

ドライブバックアップをハードディスクまたは FTP サーバーに保存するには、次の手順を実行します。

1. [ バックアップ ] > [ ドライブバックアップ ] ボタンをクリックします。  
→ [ 手動ドライブバックアップ ] 画面が表示されます。
2. 該当するチェックボックスを選択して、目的のハードディスクまたはパーティションを選択します。  
→ ハードディスクまたはパーティションが選択されます。
3. [ 次へ ] ボタンをクリックします。  
→ [ ターゲットとオプションを選択 ] 画面が表示されます。
4. [ ターゲット ] ドロップダウンメニューから、ハードディスク、ネットワークドライブ、リムーバブルメディア、または目的の FTP サーバーを選択します。

5. ターゲットとしてハードディスクを選択した場合は、[ ターゲットパス ] 入力フィールドでバックアップの保存先フォルダを指定します。
6. ターゲットとして FTP サーバーを選択した場合は、必要に応じてフォルダを選択します。
7. 必要に応じて追加設定をします。
8. [ 次へ ] ボタンをクリックします。  
→ [ フainaライズ ] 画面が表示されます。
9. この画面で設定をベリファイします。
10. [ バックアップ ] ボタンをクリックします
  - [ バックアッププロセス ] 画面が表示され、バックアッププロセスが開始されます。プロセスの状況は、進行状況バーで確認できます。
  - バックアップが完了すると、その内容のメッセージが書かれたウィンドウが表示されます。
11. [ OK ] ボタンをクリックします。  
→ ここで、ドライブバックアップが保存されました。ここでログを保存したり、[ 次へ ] ボタンをクリックして別の作業を開始したりできます。

## 15.4 リストア

### 15.4.1 ドライブバックアップをリストアする

Nero BackItUp ImageTool を利用して、ドライブバックアップをリストアできます。Nero BackItUp ImageTool は、CD/DVD から起動するので、リストアの間はハードディスクはアクティブではありません。このため、Windows で Nero BackItUp を利用したリストアと比べて、セキュリティが大幅に向上します。ただし、[ ドライブバックアップリストア ] を利用して、ドライブバックアップの個々のファイルを選択することはできないため、ドライブ全体をリストアすることになります。ファイルを個々に選択したい場合は、[ バックアップからファイルを展開 ] 機能を選択してください。

ハードディスクまたはパーティションをリストアするには、次の手順を実行します。

1. [ リストア ] > [ ドライブバックアップリストア ] ボタンをクリックします。  
→ [ リストアするバックアップを選択してください ] 画面が表示されます。

2. バックアップを使用できるようにするには、次の手順を実行します。
  1. バックアップがディスクにある場合は、ドライブにディスクを挿入します。
  2. バックアップがハードディスク、ネットワークドライブ、またはリムーバブルメディアに保存されている場合は、コンピュータがそれぞれのドライブにアクセスできることを確認してください。
  3. バックアップを選択します。リストアしたいバックアップが表示されない場合は、[参照]ボタンをクリックして検索します。
 

→ バックアップの詳細が、下のエリアに表示されます。
  4. バックアップがパスワード保護されている場合は、[パスワード]入力フィールドにパスワードを入力してください。
  5. [次へ]ボタンをクリックします。
 

→ [リストアしたいものを選択してください]画面が表示されます。バックアップしたパーティションを含むハードディスク、またはバックアップしたハードディスクのパーティションが表示されます。バックアップされていないパーティションは、淡色表示されます。
  6. リストアするハードディスクまたはパーティションを選択します。



技術的な理由から、1回のリストアプロセスでは、1つのパーティションのみか、すべてのパーティションを含む1つのハードディスクしかリストアできません。

7. リストアするハードディスクまたはパーティションにオペレーティングシステムが含まれている場合や、コンピュータの起動時にオペレーティングシステムを起動したい場合は、MBRをリストアするために [マスターブートレコード] チェックボックスを選択してください。
8. [次へ]ボタンをクリックします。
 

→ [リストアする場所の選択]画面が表示されます。
9. バックアップを元のパスにリストアする場合は、[オリジナルのパスにリストア]オプションボタンを選択します。
10. バックアップがリストアされる場所のパスを自分自身で指定するには、[カスタムパスリストア]オプションボタンを選択します。

11. [ 次へ ] ボタンをクリックします。  
→ [ リストア設定画面を確認してください ] 画面が表示されます。
12. [ リストア開始 ] ボタンをクリックします。  
→ リストアが実行され、最終画面が表示されます。タスクバーで、処理の進行状況を確認できます。

#### 15.4.2 バックアップからファイルを展開する

Nero BackItUp ImageTool を使用して、個々のファイルをドライブバックアップからリストアできます。プログラムとオペレーティングシステムはリストアされません。プログラムやオペレーティングシステムをリストアする場合は、[ ドライブバックアップリストア ] 機能を選択します。

個々のファイルをリストアするには、次の手順を実行します。

1. [ リストア ] > [ バックアップからファイルを展開 ] ボタンをクリックします。  
→ [ ファイルを展開するバックアップを選択 ] 画面が表示されます。
2. バックアップを使用できるようにするには、次の手順を実行します。
  1. バックアップがディスクにある場合は、ドライブにディスクを挿入します。
  2. バックアップがハードディスク、ネットワークドライブ、またはリムーバブルメディアに保存されている場合は、コンピュータがそれぞれのドライブにアクセスできることを確認してください。
3. バックアップを選択します。ファイルを展開するバックアップが表示されない場合は、[ 参照 ] ボタンをクリックして検索します。  
→ バックアップの詳細が、下のエリアに表示されます。
4. バックアップがパスワード保護されている場合は、[ パスワード ] 入力フィールドにパスワードを入力してください。
5. [ 次へ ] ボタンをクリックします。  
→ [ バックアップから展開したいファイルを選択してください ] 画面が表示されます。バックアップのファイルやフォルダが表示されます。
6. リストアするフォルダまたはファイルの前にあるチェックボックスを選択します。左側でフォルダを選択すると、そのフォルダ内のファイルが右側に表示されます。

7. [ 次へ ] ボタンをクリックします。  
→ [ ターゲットとリストアオプションを選択してください ] 画面が表示されます。
8. バックアップを元のパスにリストアする場合は、[ オリジナルのパスにリストア ] オプションボタンを選択します。
9. バックアップがリストアされる場所のパスを自分自身で指定するには、[ カスタムパスリストア ] オプションボタンを選択します。
10. リストアするファイルがコンピュータ上の既存のファイルの場合（またはコンピュータ上にまだある場合）は、[ 干渉を解決するには ] オプションボタンを使用して実行するアクションを選択します。
11. [ リストア開始 ] ボタンをクリックします。  
→ リストアが実行され、最終画面が表示されます。タスクバーで、処理の進行状況を確認できます。

## 15.5 オプションウィンドウ

[ オプション ] ウィンドウには、ネットワークと FTP の設定オプションが表示されます。このウィンドウを開くには、拡張エリアの [ オプション ] 項目を使用します。この機能は Nero BackItUp と同じような機能です。

次のタブが使用できます。

<b>FTP</b>	<p>FTP サーバーを設定します。</p> <p>ブータブル CD/DVD の作成時に Nero BackItUp に登録した FTP サーバーを表示します。</p> <p>また、ここでプロキシ設定を有効にしたり、最大アーカイブサイズを設定したりすることもできます。</p> <p>ネットワークが設定されている場合に限り、FTP サーバーの表示や設定ができます。</p>
------------	--

ネットワーク	ネットワーク用に次の設定オプションがあります。 [ 無し ] : ネットワークが設定されていません。 [ DHCP ] : IP アドレスを動的に参照します。 [ 固定 IP ] : 入力フィールドに入力する固定 IP アドレスを使用します。 Nero BackItUp ImageTool で FTP サーバーと接続するには、ネットワークを設定する必要があります。
キャッシュ	キャッシュに保存するデータの場所を指定します。

以下も合わせてご覧下さい:

■ FTP サーバー接続を設定する→ 64

■ リモートプロキシ→ 66

## 15.6

## Nero BackItUp ImageTool を終了する

Nero BackItUp ImageTool を終了するには、次の手順を実行します。

1. ドライブからブータブル CD/DVD をイジェクトします。
  2. ドライブがロックされている場合は、拡張エリアを開いて [ イジェクト ] ボタンをクリックします。
  3. [ 終了 ] ボタンをクリックします。
  4. コンピュータシステムを再起動する場合は、[ 再起動 ] ボタンをクリックします。  
コンピュータシステムをシャットダウンする場合は、[ シャットダウン ] ボタンをクリックします。
- ➔ Nero BackItUp ImageTool が終了し、コンピュータがシャットダウンします。

## 16 Nero BackItUp SyncTool

Nero BackItUp SyncTool は同期機能に使用するプログラムです。ハードディスク、リムーバブルメディア ( USB )、またはオプティカルディスクから実行します。

Nero BackItUp SyncTool は、Nero BackItUp で作成します。Nero BackItUp に搭載されているのと同じ機能があります。

Nero BackItUp SyncTool は、同じフォルダを自動的に同期する場合に非常に役立ちます。また、同じコンピュータ上にある 2 つのフォルダ間での同期や、コンピュータとリムーバブルメディアにあるそれぞれのフォルダ間での同期に使用できます。

以下も合わせてご覧下さい:

- フォルダを同期する → 55
- スタンドアローン Nero BackItUp SyncTool を作成する → 59

# 17 技術的な情報

## 17.1 システム要件

Nero BackItUp は、Nero BackItUp & Burn と一緒にインストールされます。システム要件も同じです。システム要件についての詳細は、[www.nero.com](http://www.nero.com) でご確認ください。

## 17.2 対応形式

### 17.2.1 ディスク種別

- CD
- DVD
- Blu-ray - 書き込みのみ



Blu-ray 対応の詳細については、[www.nero.com/link.php?topic\\_id=416](http://www.nero.com/link.php?topic_id=416) を参照してください。



実際に使用できる項目および実際に書き込めるディスクタイプ (DVD など) は、使用しているレコーダーによって異なります



DL DVD-R ブータブルは技術的に作成できません。

### 17.2.2 対応ファイルフォーマット

Nero BackItUp では、次のファイルシステムをサポートしています。

ファイルのバックアッププロセスとリストアプロセスは、次のファイルシステムに対応しています。

- FAT16
- FAT32
- NTFS

ドライブのバックアッププロセスとリストアプロセスは、次のファイルシステムに対応しています。

- FAT16
- FAT32
- NTFS
- ext2/3
- ReiserFS

NTFS ファイルシステムでのファイルのバックアッププロセスとリストアプロセスは、一般的に次の **NTFS ストリーム** ( NTFS version 5.0 以降 ) に対応しています。

- 標準データストリーム
- セキュリティストリーム
- 暗号化ストリーム
- オブジェクト識別子ストリーム
- 代替データストリーム
- リバースストリーム ( ジャンクションポイントなど。1 枚のディスクに収まるバックアップにのみ対応 )
- 拡張属性ストリーム
- スペースストリーム
- ハードリンク



### NTFS ストリーム

NTFS ストリームとは、メインファイルに属する非表示のファイルフラグメントのことです。特に、Windows® 2000 や Windows® XP® での NTFS ストリームのことを指します。ドライブバックアップではセクタ全体がバックアップされるので、NTFS ストリームは自動的にバックアップされます。

Nero BackItUp の [ オプション ] ( [ バックアップ ] タブ ) で、ファイルバックアップ用に NTFS ストリームのバックアップを設定できます。

Nero BackItUp は、ドライブバックアップとイメージファイルをハードディスクに保存するときに、次のファイルシステムに対応しています。

- FAT16
- FAT32

- NTFS

Nero BackItUp ImageTool は、ドライブバックアップとイメージファイルをハードディスクに保存するときに、次のファイルシステムに対応しています。

- FAT16
- FAT32
- ext2/3
- ReiserFS
- NTFS

### 17.2.3 対応ソースメディア

Nero BackItUp のバックアップは、一般的に次のソースメディアに対応しています。

- ディスク
- 内蔵ハードディスク
- 外付けハードディスク
- USB ハードディスク
- FireWire ハードディスク
- ネットワークドライブ ( LAN )
- リムーバブルメディア
- FTP サーバー
- イメージファイル



FTP サーバーを使用できるようにするには、[ オプション ] で FTP サーバーを入力しておく必要があります。

### CRC

巡回冗長検査 ( Cyclic Redundance Check ) とは、データの転送またはコピー中に使用されるエラー検出手順のことです。最初に定義されたデータ量でチェックサムが計算され、データブロックと一緒に渡されます。処理が終了した後に、再度チェックサムが計算され、最初の値と比較されます。差があるときは、エラーが存在することを意味します。

### FTPサーバー

FTP サーバーは、インターネットを介してアクセスできるデータ記憶装置です。通常は、匿名でアクセスします。FTP サーバーは、バックアップの記憶場所としてよく使用されます。

### シャドウコピー

シャドウコピーとは、ある時点でのファイルのスナップショットのことです。この機能の利点は、Nero BackItUp などのバックアッププログラムがファイルをバックグラウンドでバックアップしている間も、このファイルでの作業を継続できるという点です。システムによって継続的に変更されるシステムファイルを保存したい場合には、この機能が特に効果的です。

### バックアップ

コンピュータのデータを別の記憶域メディアにコピーします。バックアップは、バックアッププログラムが提供する特殊なフォーマットで作成されます。

### ブータブル CD

ブート処理とは、コンピュータの起動時にオペレーティングシステムをロードすることです。通常、これはハードディスクから実行されます。ただし、なんらかの理由でハードディスクから起動したくない場合、またはブートできない場合は、ブート CD を使用してハードディスクからオペレーティング環境をロードできます。

## マスターブートレコード MBR

マスターブートレコード ( MBR ) は、ハードディスクの最初のセクタにあります。このレコードにはオペレーティングシステムを起動するブートファイルが含まれます。また、ドライブのパーティションも定義されています。

## リストア

リストアとは、以前に作成されたバックアップコピーとバックアッププログラム ( Nero BackItUp など ) を使用して、データを以前の状態またはコピーデータに戻すことです。

## 19

## お問い合わせ

Nero BackItUp は、Nero AG の製品です。

### Nero AG

Im Stoeckmaedle 13-15  
76307 Karlsbad  
ドイツ

インターネット: [www.nero.com](http://www.nero.com)  
サポート: <http://support.nero.com>  
Fax: +49 724 892 8499

### Nero Inc.

330 N Brand Blvd Suite 800  
Glendale, CA 91203-2335  
アメリカ

インターネット: [www.nero.com](http://www.nero.com)  
サポート: <http://support.nero.com>  
Fax: (818) 956 7094  
E メール: [US-CustomerSupport@nero.com](mailto:US-CustomerSupport@nero.com)

### Nero KK

1-2-2 ローバーセンター北 8F-B  
都筑区中川中央  
神奈川県横浜市  
日本 224-0003

インターネット: [www.nero.com](http://www.nero.com)  
サポート: <http://support.nero.com>

Copyright © 2009 Nero AG and its licensors. All rights reserved.